

ēlo



ユーザーマニュアル

Elo Touch Solutions **Elo[®] タブレット**

SW602201 改訂B版

もくじ

本章をまずお読みください.....	4
第1章：製品概要.....	8
製品説明.....	8
注意事項.....	8
タブレットのレイアウト.....	9
タブレット・ドッキング・ステーション（別売付属品）のレイアウト..	14
付属品（別売）.....	17
機能.....	18
仕様.....	20
第2章：はじめに.....	22
タブレットの開梱.....	22
タブレットにバッテリーのインストール.....	22
タブレット/バッテリーの充電.....	23
タブレットにハンドストラップのインストール.....	25
マルチタッチ・スクリーンの使用.....	26
オンスクリーン・キーボードの使用.....	27
Elo タブレット・スタイラスペンの使用.....	27
スクリーンロック・モード.....	28
決済機能.....	28
Elo タブレット Diagnostic Suite の使用.....	29
第3章：ドッキング・ステーション.....	42
取り付け一般情報.....	42
ドッキング・ステーションの開梱.....	42
タブレットのドッキング手順.....	42
ドックしたタブレットと外部周辺機器の接続.....	44
第4章：操作.....	45
電源.....	45
バッテリー充電.....	52
オーディオ.....	52
第5章：技術サポート.....	53
よくある問題の解決方法.....	53

技術サポート.....	53
第 6 章：安全 & 保守.....	54
安全.....	54
タブレットのお手入れ / お取り扱い	55
タブレット・バッテリーのお手入れ / お取り扱い	55
電気・電子装置の破棄	55
バッテリーの処理	56
第 7 章：規制情報.....	57
第 8 章：保証情報.....	62

本章をまずお読みください

タブレットをご使用いただく前に、本ユーザーマニュアルの重要な安全・処理情報（本章）、安全 & 保守（第6章）、規制通知（第7章）、保証情報（第8章）をよくお読みください。

本章ではタブレットの安全な取扱方法や使用方法について説明しています。詳細をご理解いただくまでよくお読みください。

重要な安全・処理情報

身体傷害、物的損害、あるいは Elo タブレット I（以下、タブレットと呼ぶ）への偶発的損害を防止するために、本章の詳細をすべてお読みの上、タブレットをご使用ください。

操作方法の詳細については、タブレットのユーザーマニュアル（本印刷物）をご参照ください。

タブレットの取扱注意：

タブレットを損傷してしまう可能性がありますので、タブレットを落下、屈曲、穿刺、異物挿入、あるいはタブレットの上に重い物を置かないでください。タブレットのスクリーンはガラスでできており、タブレットを硬表面に落としたり、強い衝撃を与えたり、重い物で押しつぶしたりすると壊れる可能性があります。スクリーンのガラスが砕けたり割れた場合は割れたガラスに触ったり割れたガラスをタブレットから取り除こうとしないでください。タブレットの使用をすぐに止め、Elo 技術サポートに連絡して修理、交換、処理方法などの情報を得てください。

タブレットを分解・修正しないでください：

タブレットは密封されていますのでユーザーが修理可能なものではなく、エンドユーザーが分解したり内部ハードウェアを変更したりするように設計されていません。すべての内部修理は必ずElo 認定修理施設か、Elo 認定技術者に行ってもらってください。タブレットを分解・修正しようとした場合は保証が無効になります。

タブレットや充電器が濡れないようにしてください：

- タブレットを水に浸したり、水などの液体が飽和する場所に放置したりしないでください。
- Elo タブレットのAC/DC電源アダプタを野外で使用しないでください。

バッテリーの安全性：

警告： 非互換性のバッテリーを使用すると火事や爆発の危険が大きくなる場合があります。

バッテリーを交換する場合は、Elo タブレットで動作するように設計された、Elo Touch Solutions から購入した互換性のあるバッテリーのみを使用してください。絶対に他のタブレットのバッテリーを使用しないでください。

絶対に損傷したバッテリーを使用/操作しないでください。絶対に損傷したバッテリーを充電しないでください。損傷したバッテリーは身体傷害の危険をもたらす場合があります。損傷は衝撃や衝突、火災への暴露によるバッテリーのへこみや穿孔、その他の奇形を含みます。バッテリーが損傷を受けると電解質がセルから漏れたり火災の原因になったりし、身体傷害の原因になる場合があります。損傷を受けたり漏れているバッテリーパックは取り扱いに十分注意してください。バッテリー交換や廃棄についての情報は Elo 技術サポートにお問い合わせください。

絶対にバッテリーを分解しないでください。

認可を受けた充電方法のみで充電してください：

Elo Touch Solutions が提供するタブレット専用のAC/DC 電源アダプタキットを使用してください。以下の構成のバッテリーを使用すると、タブレットのバッテリーを安全に充電できます。

1. タブレットに接続している AC/DC 電源アダプタキット。
2. タブレットがドッキング・ステーションに接続されている状態で、タブレットに接続しているAC/DC 電源アダプターキット。
3. タブレットがドッキング・ステーションに接続されている状態で、ドッキング・ステーションに接続しているAC/DC 電源アダプターキット。
4. タブレットがドッキング・ステーションに接続している、していないにかかわらず、予備のバッテリーがドッキング・ステーションのバッテリーコンパートメントにインストールされている状態で、ドッキング・ステーションに接続しているAC/DC 電源アダプター。

AC/DC 電源アダプターキットはタブレットが正常に動作しているときでも加熱する場合があります。充電装置の周りに十分な換気が得られるようにしてください。次の場合は充電装置のプラグを外してください。

- 充電装置が雨や液体、過度の湿気にさらされた。
- 充電装置が物理的損傷の兆しを示す。
- 充電装置をクリーニングするとき。

Elo 社は Elo 社が製造・承認しない製品の性能や安全性に対する責任は負いません。

聴覚損傷の防止：

タブレットにはヘッドホン（ヘッドセットとも呼ぶ）やイヤホンに接続できるオーディオ・ポートがあります。

注意：

イヤホンやヘッドホンからの音圧が過度になると聴覚損失の原因になりかねません。イコライザーを最大にすると、イヤホンやヘッドホンの出力電圧や音圧レベルが大きくなります。よって、イコライザーを適切なレベルに調整して聴覚を保護してください。

タブレットを自動車や自転車で使用するときは注意してください：

常にご自分や他者の安全を優先してください。法律に従ってください。地方法規制はタブレットなど携帯電子機器の自動車や自転車での使用を規定する場合があります。

地方法規制に準じた取り決め：

タブレットが耐用年数に達した場合、圧搾、焼却、浸水など地方法規制に反した方法でタブレットを処分しないでください。内部部品には間違った方法で処分すると爆発、漏出、あるいは環境に悪影響を及ぼす物質が入っています。

タブレットが耐用年数に達した場合の正しい処理方法については、第6章「安全 & 保守」をご参照ください。

タブレットや付属品は小さなお子さんに近づけないでください：

タブレットには小さなお子さんが窒息の危険がある小さな部品が含まれています。また、ガラスのスクリーンを硬表面に落としたり投げたりすると壊れたり割れたりする場合があります。

データやソフトウェアの保護：

作成していないファイルやディレクトリの名前を削除・変更すると、タブレットのソフトウェアが適切に動作しないことがあるので削除・変更しないでください。

ネットワーク・リソースにアクセスすると、タブレットはコンピュータのウイルスやハッカー、スパイウェアなどタブレットやソフトウェア、データに損害を与えかねない悪意のある活動に感染しやすくしてしまいますので気をつけてください。ファイアウォールやウイルス対策ソフトウェア、スパイウェア駆除ソフトウェアなどの形で適切な保護をし、最新の状態にするのはあなたの責任です。

扇風機やラジオ、ハイパワースピーカー、エアコン、電子レンジなどの電化製品は強磁場を生じ、タブレットのスクリーンやデータに損害を与えかねないので近づけないようにしてく

ださい。

ビニール袋に注意してください：

タブレットはプラスチックの包装に入ってきます。

危険： ビニール袋は危険な場合があります。窒息する危険がありますので、ビニール袋は赤ん坊やお子さんの手の届かない所に保管してください。

タブレットは熱を発生するので注意してください：

タブレットは操作中やバッテリーの充電中に過熱する場合があります。タブレットの表面温度はシステムの活動量やバッテリーの充電レベルによって異なります。身体や衣服を通してさえも、長い間接触すると不快感や皮膚の火傷の原因になる場合があります。手や膝など身体の部分が長時間にわたってタブレットの高温部に接触しないように注意してください。タブレットをドッキング・ステーションから外すときは、タブレットが高温になっているかもしれないのでハンドストラップでタブレットを持って行ってください。

無線周波数 (RF) エネルギー暴露

装置のトランスミッターやレーザーの電源がオンになっているときは無線周波数 (RF) エネルギーを送受信します。無線技術の使用は RF 干渉の危険が有害として認識・特定されている特定状況・環境で規制されている場合があります。航空機乗務員の指示によって装置をオフにしなければならない場合、あるいは注意が掲示されている場合はそのようにしてください。

ユーザーの RF エネルギー暴露を最小限に抑えるために、装置を身体からさらに離してください。

ポリ塩化ビニール (PVC) ケーブル/コードの注意：

警告： 本製品のコードを取り扱う場合や、本製品と売られている付属品に関係するコードを取り扱う場合、米カリフォルニア州ではガンや、出生異常など生殖への危害の原因として知られている化学物質にさらされます。 **取り扱い後は両手をよく洗ってください。**

第1章：製品概要

本章ではコネクタやコントロールの位置、タブレットの機能、付属品、仕様、動作環境など、タブレットの概要について説明します。

製品説明

お買い上げいただいたタブレットはElo Touch Solutions社のタッチスクリーン技術の最新開発と表示設計の信頼できる性能を実現します。この組み合わせによってユーザーとタブレット間で情報が自然に流れるようになります。

本タブレットは24 ビットカラー、1366 x 768 LCDパネルを取り入れ、4線式タッチパネルで最高のディスプレイ性能を提供します。EloタブレットはHD高解像度 720p で、グラフィックや画像の表示、アプリケーションの実行に最適です。本タブレットにはハンドストラップが付いており、本装置の携帯操作を支援します。本タブレットの性能を強化する特徴として、プラグアンドプレイ互換性、内蔵スピーカー/マイクロホンのほか、イーサネットや3 USB、VGA、電力インターフェースなどをタブレットに追加する別売りのドッキング・ステーション (Elo Tablet Dock) があります。タブレットはフォームファクターに影響せず、かつ追加ケーブルを必要としないで、タブレットのドッキング・ステーションに統合するように設計されています。

予備のバッテリーやスタイラスペン、予備のハンドストラップなどの別売り付属品は Elo Touch Solutions社からお買い求めいただけます。

注意事項

装置をより長く使用してユーザーの安全性に関する危険を防止するため、本ユーザーマニュアルの全ての警告・注意事項、保守手順を遵守してください。タッチモニターの安全性については第6章をご参照ください。

本マニュアルにはタブレットやドッキング・ステーションの適切なセットアップや保守など大切な情報が記載されています。本マニュアルをよくお読みいただいてから、お買い求めのタブレットやドッキング・ステーションをセットアップしたり、電源をオンにしてください。

タブレットのレイアウト

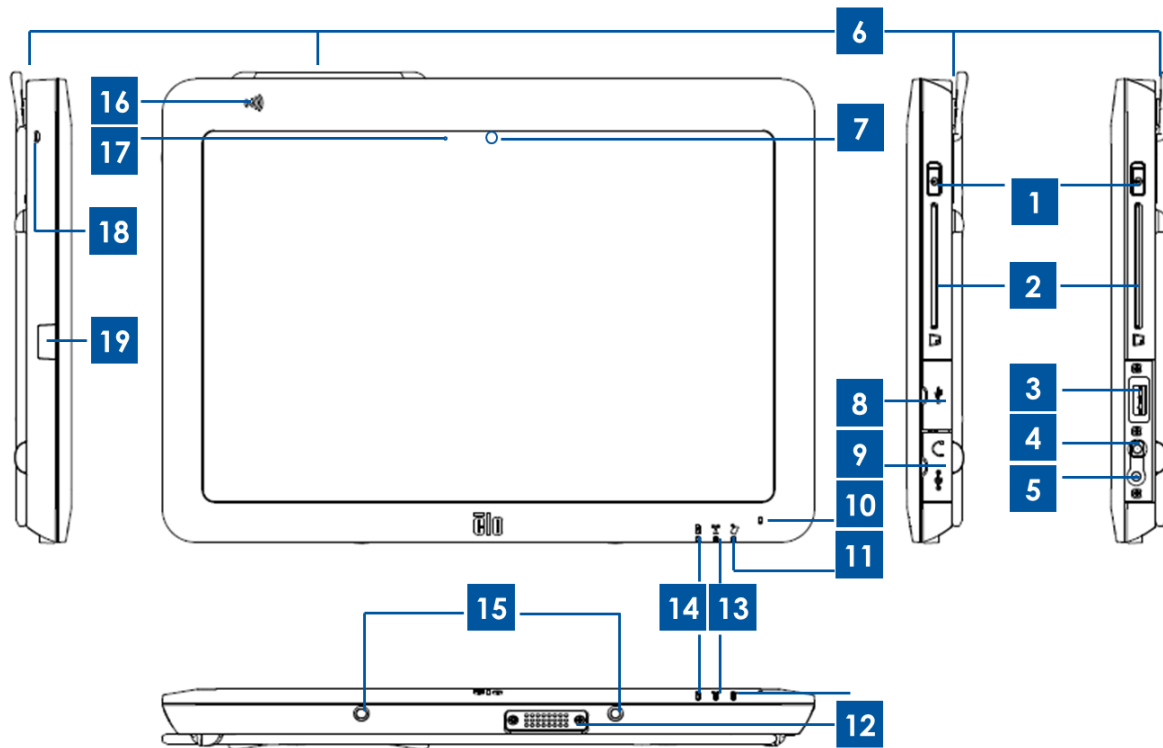


図1. タブレットの正面図/側面図

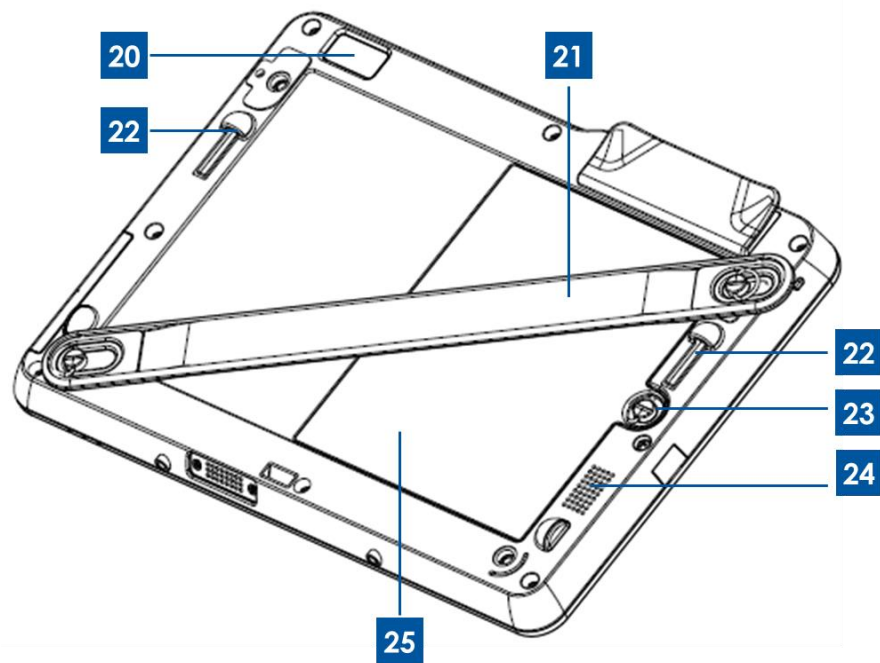


図2. タブレットの背面図

1	電源ボタン	14	バッテリーインジケータ LED
2	スマートカードリーダー (SCR)	15	ドック・ピンポート (底面)
3	USB ポート	16	近距離無線通信 (NFC) リーダー
7	オーディオ・ポート (緑色)	17	周辺光センサー
5	パワーポート (黄色)	18	タブレットのスタイラスペン・スト リングホール
6	磁気ストライプリーダー (MSR)	19	タブレットのスタイラスペンホルダ ー・ポートカバー
7	前向きカメラ	20	後向きカメラ
8	USB ポート・カバー	21	ハンドストラップ
9	パワー / オーディオ・ポートカバー	22	ドック・ピンポート (上部)
10	マイクロホン (内蔵)	23	バッテリー・ネジ
11	決済 LED	24	スピーカー (内蔵)
12	タブレット・ドック・コネクタ	25	バッテリー
13	無線インジケータ LED	26	-

1. 電源ボタン

電源ボタンをオン / オフにしてタブレットの電源を入れます (初期設定)。Windows で操作するときは、スタートメニューで終了してタブレットの電源を切ります。電源ボタンの隣には以下を表示する LED ライトがあります。

- タブレットの電源がオンのときに表示する点灯ライト (緑色)。
- タブレットがスタンバイ/スリープのとき表示する点滅ライト (緑色)。
- タブレットの電源がオフのときはライトは表示しない。

2. スマートカードリーダー

タブレットはスマートカードリーダーを搭載しており、詳細については第 2 章の「決済機能」の章をご参照ください。スマートカードリーダーにアクセスするには、タブレットに付いているスマートカードリーダーのスロットカバーを外してください。使用しないときは、タブレットにほこりや液体が入らないようにスマートカードリーダーのスロットカバーを付けてください。

3. USB ポート

フルサイズの USB ポートを互換性のある USB 装置に接続します (例: 記憶装置などの外部周辺機器)。

4. オーディオ・ポート

ヘッドホンやマイクロホン、マイク付きヘッドセットはオーディオ・ポートからタブレットに接続できます。ヘッドホンやマイクロホン、ヘッドセットをパワーポートに接続しないでください。緑色のオーディオ・ポートは黄色のパワーポートと見分けられるようにしています。ヘッドホンをタブレットに接続してから、ヘッドホンをオンにしたり耳に付けたりします。

5. パワーポート

AC/DC 電源アダプターキットの DC ケーブルをパワーポートに接続してからタブレットの電源を入れたり充電したりしてください。DC 電源ケーブルをオーディオ・ポートに接続しないでください。黄色のパワーポートは緑色のオーディオ・ポートと見分けられるようにしています。

6. 磁気スライプリリーダー

タブレットは磁気スライプリリーダーを内蔵しており、さまざまなクレジットカードなどカードを読み取ることができます（例：ポイントカード、運転免許証など）。詳細については、第 2 章「決済機能」の章をご参照ください。

7. 前向きカメラ

タブレットは 2 メガピクセルの前向き面カメラを搭載しており、写真を撮ったりビデオを作ったりビデオ通話をしたりできます。

8. USB ポート・カバー

USB ポート・カバーを開けてから、フルサイズの USB ポートにアクセスします。

9. パワー / オーディオ・ポートカバー

パワー / オーディオ・ポートカバーを開けてから、パワー / オーディオ・ポートにアクセスします。

10. マイクロホン（内蔵）

内蔵マイクロホンはオーディオ入力の使用が可能なアプリケーションを使用した場合に音や音声をキャプチャします。

11. 決済LED

磁気スライプリリーダーや NFC リーダー、スマートカードリーダーがデータのキャプチャに成功したときに点滅します。

12. タブレット-ドック・コネクタ

タブレットが Elo タブレット・ドックに正しく取り付けられたとき、このコネクタはドッキング・ステーションに位置するドック-タブレット・コネクタと接続し、二つの装置を接続します。タブレット統合のドッキング・ステーションについての詳細は、第3章をご参照ください。

別売の Elo タブレット・ドックは Elo Touch Solutions 社でお買い求めいただけます。

13. 無線インジケータ LED

タブレットが Wi-Fi ネットワークに接続したときに緑色に点滅し、タブレットのBluetoothがオンになったときに青色に点滅します。

14. バッテリーインジケータ LED

この発光ダイオードは次を表示します。

- バッテリーがフルに充電したときに緑色に点灯。
- バッテリーが充電中のときに琥珀色に点灯。

15. ドック・ピンポート（底面）

タブレットをドッキング・ステーションに取り付ける場合、ドッキング・ステーションのドッキングピンとタブレットのドッキングピンを一直線に並べてしっかりと取り付けます。タブレットをドッキング・ステーションに取り付ける際の詳細については、第3章をご参照ください。

16. 近距離無線通信（NFC）

タブレットには近距離無線通信機能が搭載されており、詳細については、第2章「決済機能」の章をご参照ください。

17. 周辺光センサー

内蔵の周辺光センサーは環境の明るさを検知し、周りの照明状況によってスクリーンの明るさを自動的に調整します。

18. タブレット・スタイラスペン・ストライングホール

ホールはスタイラスペンをタブレットにつなぐために使用します。

19. タブレットのスタイラスペン・ホルダーポートカバー

タブレットのスタイラスペン・ホルダーポートカバーを開けて、タブレットのスタイラスペン・ホルダーポートにアクセスします。Elo タブレットの付属品スタイラスペンはホルダーが付

いており、このポートにインストールできます。このホルダーにタブレットのスタイラスペンを保管できます。

20. 後向きカメラ

タブレットは2メガピクセルの後向きカメラを搭載しており、バーコードの読み取りのほかに、写真やビデオのキャプチャに使用できます。

21. ハンドストラップ

ハンドストラップを使うと、タブレットの携帯使用が簡単です。ハンドストラップには蝶ネジが付いているので、タブレットのインストール/アンインストールが簡単です。ハンドストラップは左利き用、右利き用にタブレットにインストールできます。タブレットにハンドストラップをインストール/アンインストールする方法についての詳細は、第2章をご参照ください。

22. ドック・ピンポート（上部）

タブレットをドッキング・ステーションに取り付ける場合、ドッキング・ステーションのドッキングピンとタブレットのドッキングピンを一直線に並べてしっかりと取り付けます。タブレットをドッキング・ステーションに取り付ける方法についての詳細は、第3章をご参照ください。

23. バッテリー・ネジ

バッテリーの蝶ネジをゆるめ、タブレットからバッテリーを外します。バッテリーのネジを締め、バッテリーをタブレットにしっかりと固定します。

24. スピーカー（内蔵）

内蔵スピーカーはビデオやミュージックの再生のための音声を出力します。

25. バッテリー

バッテリーは41.81 Whのリチウムイオンバッテリーです。タブレットのバッテリーの安全規格についての詳細は、第7章をご参照ください。

タブレット・ドッキング・ステーション（別売付属品）のレイアウト

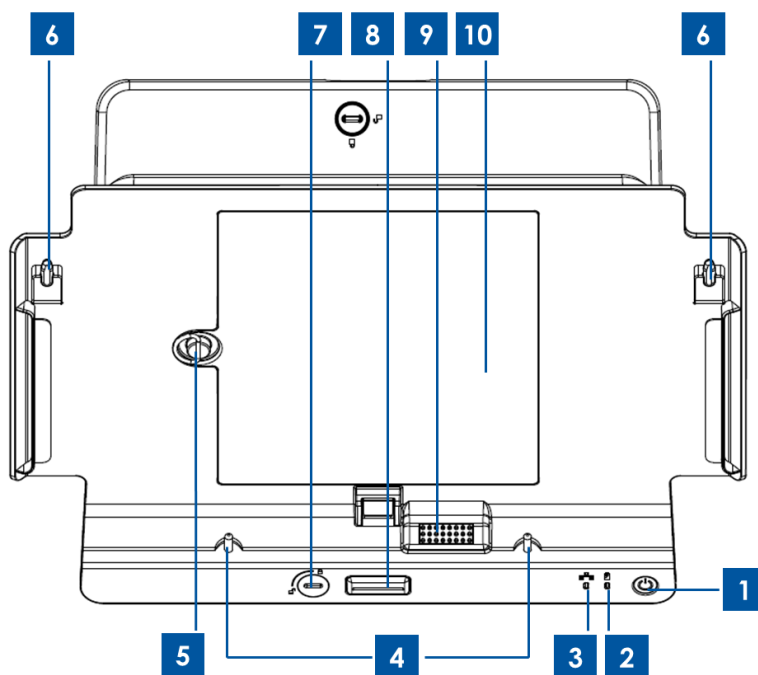


図3. タブレット・ドッキング・ステーション正面図

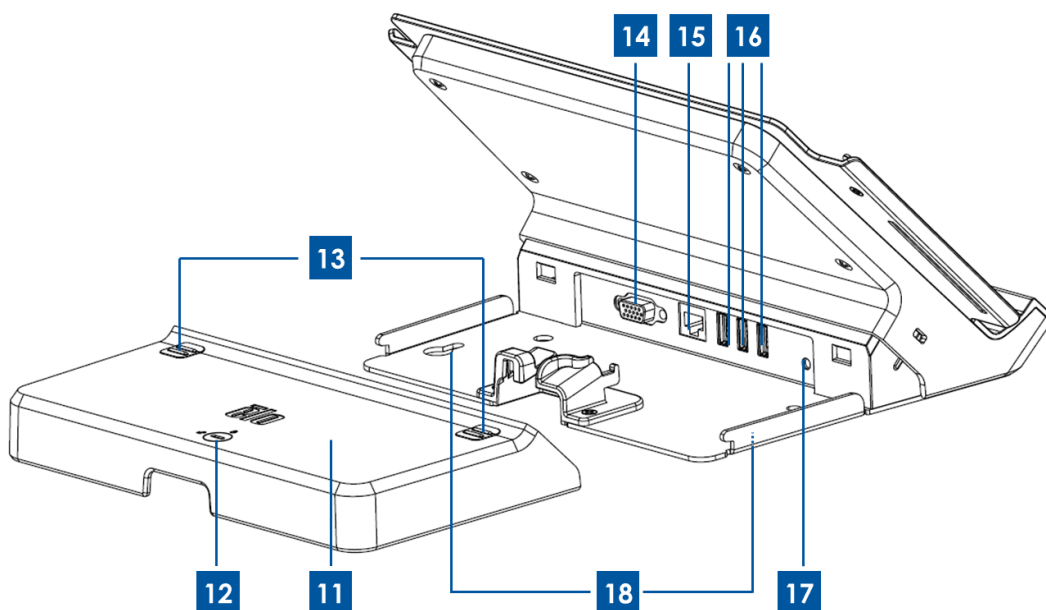


図4. タブレット・ドッキング・ステーション背面図

1	電源ボタン	10	ドック・バッテリーコンパートメント
2	無線インジケータ LED	11	ドック・ケーブルカバー
3	イーサネットインジケータ LED	12	ドック・ケーブルカバーロック*
4	ドック・アライメントピン (底部)	13	ドック・ケーブルカバー解除ボタン
5	バッテリー・ネジ	14	VGA ポート
6	ドック・アライメントピン (上部)	15	イーサネットポート
7	ドック・ロック*	16	USB ポート
8	ドック解除ボタン	10	ドック・パワーポート
9	ドック-タブレットコネクタ	18	ドックねじ穴

*ドッキング・ステーションには簡単にロック/アンロックできるように一式の鍵が付いています。紛失した場合は、スクリュードライバーのような同様のツールを使ってロック/アンロックしてください。

1. 電源ボタン

電源ボタンをオン / オフに押し、タブレットの電源を入れます (初期設定)。Windows で操作するときは、スタートメニューで終了してタブレットの電源を切ることもできます。電源ボタンは次を表示する LED ライトが付いています。

- タブレットの電源がオンのときに点灯する緑色ライト。
- タブレットがスタンバイ/スリープのとき表示する点滅ライト (緑色)。
- タブレットの電源がオフのときはライトは表示しない。

2. 無線インジケータ LED

タブレットが Wi-Fi ネットワークに接続したときに緑色に点滅し、タブレットの Bluetooth がオンになったときに青色に点滅します。

3. イーサネットインジケータ LED

固定したタブレットがイーサネットケーブルを通してネットワークに接続したときに緑色に点滅します。

4. ドック・アライメントピン (底部)

これらのピンでタブレットをドッキング・ステーションに固定してサポートします。これらのピンをタブレットにあるドッキング・ピンポートに調整・スライドして、ドッキング・ステーションにタブレットを固定します。タブレットをドッキング・ステーションに取り付ける方法についての詳細は、第 3 章をご参照ください。

5. バッテリー・ネジ

バッテリーの蝶ネジをゆるめて、ドッキング・ステーションのバッテリーコンパートメントからバッテリーを外します。ドッキング・ステーションのバッテリーコンパートメントにバッテリー蝶ネジでバッテリーを固定します。

6. ドック・アライメントピン（上部）

これらのピンでタブレットをドッキング・ステーションに固定してサポートします。これらのピンをタブレットにあるドッキング・ピンポートに調整・スライドして、ドッキング・ステーションにタブレットを固定します。タブレットをドッキング・ステーションに取り付ける方法についての詳細は、第3章をご参照ください。

7. ドック・ロック

ドッキング・ステーションに固定したタブレットをロック/アンロックするために回します。「ロック」位置のときにドック解除ボタンを押しても、タブレットはドックから外れません。

8. ドック解除ボタン

このボタンを押して、ドッキング・ステーションからタブレットを外します。ドック・ロックを「ロック」位置に回すと、この機能を無効にします。

9. ドック-タブレットコネクタ

タブレットが Elo タブレット・ドックに正しく取り付けられたとき、このコネクタはタブレットに位置するドック-タブレット・コネクタと接続し、二つの装置を接続します。タブレット統合のドッキング・ステーションについての詳細は、第3章をご参照ください。

10. ドック・バッテリーコンパートメント

ドックのバッテリーコンパートメントにアクセスするには、ドッキング・ステーションに装備のドック・バッテリーコンパートメントのドアを外します（ネジをゆるめて外します）。このバッテリー・コンパートメントを使ってドックから予備のバッテリーを充電します。このドッキング・ステーションはこのバッテリー・コンパートメントに固定の予備バッテリーとドッキング・ステーションに固定のタブレットを同時に充電するように設計されています。

11. ドック・ケーブルカバー

ドック・ケーブルカバーを外すには、USB ポートやイーサネットポート、ドッキング・ステーションの後ろにある VGA にアクセスします。

12. ドック・ケーブルカバーロック

ドック・ケーブルカバーをドッキング・ステーションに正しくインストールしたら、このロック

クを回してケーブルカバーをドッキング・ステーションにロック/アンロックします。注記：ケーブルカバーが「ロック」位置のときはケーブルカバーはドッキング・ステーションに取り付けられません。ケーブルカバーをドッキング・ステーションにインストール/アンインストールする際のの詳細については、第3章をご参照ください。

13. ドック・ケーブルカバー解除ボタン

このボタンを押して、ドッキング・ステーションからケーブルカバーを外します。ドック・ケーブルカバーロックをロックの位置に回すと、この機能を無効にします。

14. VGA ポート

このポートを使ってドッキング・ステーションと外部モニター間をVGAケーブルで接続します。

15. イーサネットポート

このポートを使ってタブレットを接続し、イーサネット RJ-45 ケーブルを通してネットワークで結びます。

16. USB ポート

フルサイズのUSBポートを互換性のあるUSB装置に接続します（例：記憶装置やスキャナーなどの外部周辺機器）。

17. ドック・パワーポート

タブレットのAC/DC電源アダプターキットのDCケーブルをドッキング・ステーションのパワーポートに接続し、ドッキングステーションを通してタブレットや予備のバッテリーを充電します。

18. ドックねじ穴

これらの穴を使ってカウンタートップなど家具の表面にドッキング・ステーションを固定します。

注記：取り付けネジはドッキング・ステーションには付いていません。

付属品（別売）

以下の付属品（別売）や予備の部品は Elo Touch Solutions 社よりお買い求めいただけます。カッコ内の番号はご注文の際の Elo 品番です。

- バッテリー付属品 (E840851) : Elo タブレット用予備バッテリー
- 交換用ハンドストラップ (E697779) : Elo タブレットの交換用ハンドストラップ。
- ドッキング・ステーション用交換ケーブルカバー (E108413) : Elo タブレット・ドッキング・ステーション用交換ドック・ケーブルカバー。
- 交換用電源供給 (E452058) : タブレット電力供給/充電用交換 AC/DC 電源アダプターキット。
- スタイラスペン (E761200) : Elo タブレット用スタイラスペン、ホルダー付き。
- ドッキング・ステーション (E518363) : Elo タブレット用ドッキング・ステーション、バッテリー充電位置付き、イーサネットポート、USB ポート 3つ、VGA コネクタ。
- **VESA ブラケット (E624438)** : VESA 取り付けブラケットで、アームやスタンドなど、VESA 取り付けブラケット (75mm x 75mm) に互換性の装置にタブレットを取り付けることができます。VESA 取り付けブラケットにはタブレットに固定するためのネジ (4 個) が付いています。追加の取り付けネジは入っていません。VESA 取り付けブラケットでタブレットを固定する場合は、M4 ねじ込みねじ (4 個) を使います。VESA 取り付けブラケットは取り付け面からの深さ最大 10 mm のネジを使用できます。VESA 取り付けブラケットよりも長いネジでタブレットを固定すると、タブレットを損傷する場合があります。

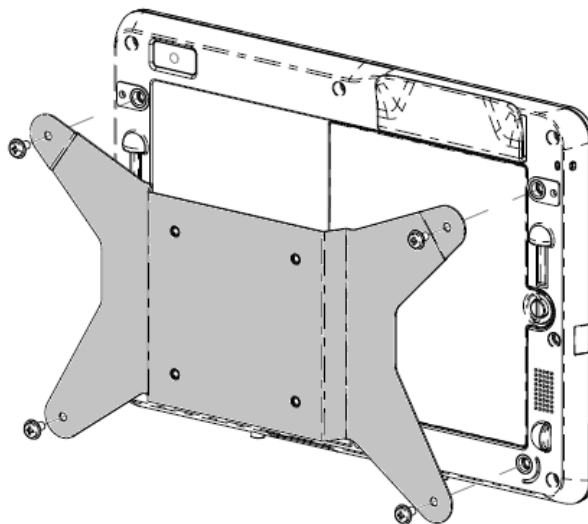


図 5. タブレット用 VESA 取り付けブラケットは別売です。

機能

プロセッサ

- インテル Atom N2600 デュアルコア 1.6 GHz

オペレーティング・システムのオプション

- Windows Embedded Standard 7 (32ビット)

記憶容量 (RAM)

- 2 GB DDR3 – 1066 MHz (2GB以上の拡張不可)

記憶装置

- 32 GB mSATA SSD

Bios

- Phoenix

チップセット

- Intel NM10

ディスプレイ装置

- 画面サイズ : 257 mm (10.1 インチ)
- 実行画面領域 : 222 mm x 125 mm
- スペクト比 : 16 : 9 (幅)
- ネイティブ (最適) 解像度 : タブレット 1366 x 768 LCD ドッキング・ステーション VGADB15 出力
- 輝度 (標準) : LCD パネル : 380 ニット
タッチスクリーン : 335 ニット
- コントラスト (標準) : 800 : 1
- タッチ技術 : PCAP (投影型静電容量) マルチタッチ (4タッチ)
- 自動輝度調整
- TFT (薄膜トランジスタ駆動) 液晶ディスプレイ装置 (TFT LCD) 技術、LED バックライト付き

内蔵カメラ

- 前向きカメラ、オートフォーカス 2 メガピクセル
- 後ろ向きカメラ、オートフォーカス 2 メガピクセル

コネクタ

- タブレット 1 x USB 2.0、ドッキング・ステーション 3 x USB 2.0
- 1 x LAN RJ45 (10/100Mbps) (ドッキング・ステーションにドックの場合)
- 1 x VGA DB15 (ドッキング・ステーションにドックの場合)

決済機能

- 磁気ストライプリリーダー (MSR) 搭載
- 内部/統合バーコードリーダー (後向きカメラから)
- 内部/統合スマートカードリーダー
- 統合近距離無線通信リーダー

無線機能

- Wi-Fi (802.11 b/g/n、2.4 GHz 帯、最大 150 Mbps)
- Bluetooth 4.0 / 3.0 以上高速対応
- 近距離無線通信

その他の機能

- スピーカー内蔵
- マイクロホン内蔵

言語

- 英語 (初期設定)
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- スペイン語
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語

仕様

外形最大寸法 (幅 x 高さ x 奥行)

- タブレット : 11.52インチ x 0.79インチ x 8.17インチ
- ドッキング・ステーション : 11.5インチ x 7.1インチ x 7.8インチ

タブレット質量 :

- 1.13 kg (2.5 lb)

バッテリー

- リチウムイオンバッテリー 41.8 Wh 5650mAh

電源

- 電源アダプタ入力： AC 120/220V (50/60 Hz) 、 36 W
- タブレット入力電源： 12Vdc、 3.0A
- 標準電力消費量（周辺機器なし）： 12 ワット – バッテリー推定最大実行時間 7 時間

温度:

- 動作温度 : 0°C ~ 40.0°C (32°F ~ 104°F)
- 保管温度 : -20°C ~ 20°C (20°F ~ 20°F)

湿度（結露なし）：

- 動作湿度 : 20% ~ 80%
- 保管湿度 : 5% ~ 95%

タブレットは可能であれば、直射日光の当たらない、換気の良い乾燥した場所に置いてください。タブレットはほこりっぽい場所や汚れた場所、極端に温度変化が激しい場所などで使用・保管しないでください。

第2章：はじめに

タブレットの開梱

タブレットを開梱するには：

1. 箱を開けます。
2. 以下の品が揃っているか、良い状態であるかを確認してください。
 - タブレット
 - クイックインストールガイド
 - AC/DC 電源アダプターキット
 - AC/DC 電源アダプター、DC 電源ケーブル付き
 - 充電器プラグアダプター（北米、欧州/韓国、英国用）
 - バッテリー
3. 保護バッグ/カバーや乾燥剤などの包装材を丁寧に取り外します。この際、小さなお子さんの手に届かないように、十分に注意してください。
4. タブレットを使用するときは、電源ボタンを押して開始します。タブレットの使用を始める前に、充電する必要があるかもしれません。タブレットを初めて使用する前に**2.5時間以上充電することをお勧めします。**

タブレットにバッテリーのインストール

タブレットにバッテリーをインストールするには、バッテリーをバッテリー・コンパートメントにスライドします。バッテリーのネジを締めて、バッテリーをタブレットにしっかりと固定します。

タブレットのバッテリーはエンドユーザーのために取り外しが簡単に設計されています。タブレットの電源を切ってからタブレットからバッテリーを外してください。バッテリーはタブレットの裏面にあるバッテリー・ネジをゆるめてから取り外します。タブレットが電力供給のプラグに差し込んでいるときは、バッテリーはタブレットの電源を切らずに交換できます。

追加バッテリーをご購入いただくこともできます（**P/N E840851**）。

タブレット/バッテリーの充電

AC/DC 電源アダプターキットのセットアップ：

- AC/DC 電源アダプターの解除ボタンを押し、AC/DC 電源アダプターキットに入っている保護カバーを外します。
- お住まいの地域に合った充電器のプラグを選び、カチッという音がするまで AC/DC 電源アダプター・ヘッドにスライドします。

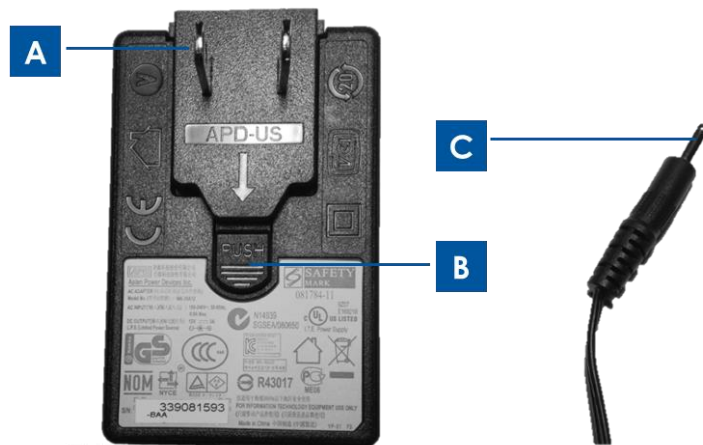


図6. 充電器プラグ用アダプター (A) は解除ボタン (B) を押して充電器プラグ用アダプターから取り出すと AC/DC 電源アダプター・ヘッドから外すことができます。AC/DC アダプターヘッド (左) を標準 AC 電源コンセントに差し込み、DC 電源C) をタブレットの電源ポート (黄色、5、図1) か、ドッキング・ステーションの電源ポート (黄色、17、図4) に差し込んで充電します。

タブレットの充電：

- DC 電源ケーブルをタブレットの電源ポートに差し込みます。
- AC/DC アダプター・ヘッド (お住まいの地域に合った充電器プラグが付いたもの) を標準 AC 電源コンセントに差し込みます。

注記：タブレットは別売のドッキング・ステーションから充電できるように設計されています。

別売のドッキング・ステーションでタブレットの予備バッテリー充電：

- ドックのバッテリー・コンパートメントドアをネジをゆるめて取り外します。バッテリーをドック・バッテリーコンパートメントにスライドし、バッテリーのネジを締めて、バッテリーをドッキング・ステーションにしっかりと固定します。
- DC 電源ケーブルをドッキング・ステーションのパワーポートに差し込みます。
- AC/DC アダプター・ヘッド (お住まいの地域に合った充電器プラグが付いたもの) を標準 AC 電源コンセントに差し込みます。

別売のドッキング・ステーションでタブレットの充電：

- タブレットをドッキング・ステーションに取り付けます。タブレットのドッキングについては、第3章をご参照ください。
- **DC** 電源ケーブルをタブレットのドッキング・ステーション・パワーポートに差し込みます。
- **AC** アダプターを標準 **AC** 電源コンセントに差し込みます。

注記：タブレットのドッキング・ステーションはタブレットと予備バッテリーを同時に充電できません。

タブレットにハンドストラップのインストール

ハンドストラップはユーザーがタブレットに簡単にインストール/アンインストールできるように設計されています。図7に表示のように、ハンドストラップは左利き用、右利き用にタブレットにインストールできます。タブレットを左手で持つ場合は、タブレット裏の左上と右下（タブレットの裏面に向かって）のハンドストラップ・スクリューポートを使います。タブレットを右手で持つ場合は、タブレット裏の右上と左下（タブレットの裏面に向かって）のハンドストラップ・スクリューポートを使います。

タブレットにハンドストラップをインストールする場合：

1. ハンドストラップの穴付きスクリューホルダーとタブレット裏の上部ハンドストラップ・スクリューポートが合うように調整します。ネジを締めてしっかりと固定します。
2. ハンドストラップのもう一方と、タブレット裏の下部ハンドストラップ・スクリューポートが合うように調整します。ネジを締めてしっかりと固定します。

図7はハンドストラップの両端にあるスクリューホルダーがどのように配置しているかを表示しています。

タブレットからハンドストラップをアンインストールするには、タブレット裏のハンドストラップ・スクリューポートからハンドストラップ・スクリューをゆるめて外します。

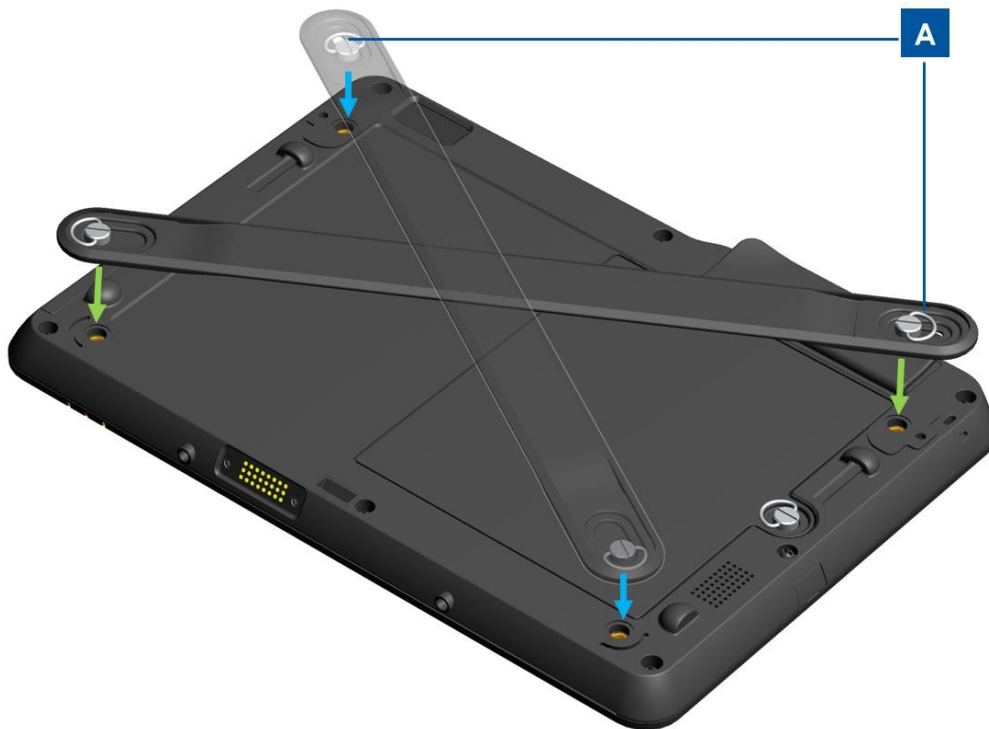


図7. ハンドストラップはタブレットに、次の二つの方向でインストールできます。

- 1) タブレットを左手で持つ場合（緑色の矢印）
- 2) タブレットを右手で持つ場合（青色の矢印） 穴付きハンドストラップ・スクリューホルダー（A）をタブレット裏の上部スクリューポートに固定します。

マルチタッチ・スクリーンの使用

本章ではマルチタッチ・スクリーンの使い方について説明しています。以下に記載のタッチ機能は、タブレットにロードしたアプリケーション・ソフトウェアがジェスチャやアクションに対応するかによって異なるので、常に機能しない場合があります。

タッチ

指先でスクリーンをやさしくタッチしてアイテムを選んだりメニューを開いたり、あるいはオンスクリーン・キーボードを使ってタイプします。Windows で操作するときは、タッチはマウスの左ボタンクリックのように作動します。

タッチアンドホールド

アクションが発生するまで、スクリーンのオブジェクトや空白領域をタッチアンドホールドします。Windows で操作するときは、タッチアンドホールドはマウスの右ボタンクリックのように作動します。

ドラッグ

スクリーンの画像やアイコンなどのアイテムを取り除くには、そのアイテムを指先でタッチアンドホールドして、希望の場所に指先を動かし、スクリーンから指を離します。

スワイプ/スライド

スクリーンの縦/横方向に指を動かし、ホームスクリーンやウェブページ、リスト、サムネイルの写真などをスクロールします。

ズーム

- **縮小**：何かを掴むようにスクリーン上で二本の指を近づけて、画像やウェブページを縮小します。
- **拡大**：スクリーン上で二本の指を離して、画像やウェブページを拡大します。

編集

• テキストをカット/コピーする場合：

1. コピー/カットしたいテキストをドラッグしてテキストを選択します。全部のテキストを選ぶには、テキストをタッチアンドホールドし、ポップアップメニューの **Select All** (すべて選択) をタッチします。選択したテキストはハイライト表示されます。

2. ハイライト表示のテキストをタッチアンドホールドし、ポップアップメニューの **Copy** (コピー) あるいは **Cut** (カット) をタッチします。テキストはクリップボードに保存されます。
- テキストをペーストする場合：
 1. カットあるいはコピーしたテキストをペーストしたい領域をタッチアンドホールドします。
 2. ポップアップメニューの **Paste** (ペースト) をタッチし、テキストをペーストします。

オンスクリーン・キーボードの使用

テキストや数字、記号などの文字をタイプします。

テキストをタイプするときは、テキスト領域をタッチしてオンスクリーン・キーボードを呼び起こしてから、キーボードのキーをタッチしてタイプします。

Elo タブレット・スタイラスペンの使用

Elo タブレットのスタイラスペンを使用するには、スタイラスペンを持ち、ペンの先でスクリーンをやさしくタッチしてタッチやタッチアンドホールド、ドラッグ、スライドなどのアクションを実行します。

次の状況の場合に、指先の代わりにスタイラスペンを使用します。

- 写真をドラッグしたり、ハンドライティングモードを使用するなど入力が正確・詳細なとき
- ゲームをプレイするときなど、スクリーン上にたくさんの要素があるとき
- スクリーンをいつも鮮明にしたいとき
- 指の爪が長くて、タイプが困難なとき

Elo タブレットのスタイラスペンにはスタイラスペン・ホルダーが付いており、タブレットの側面にあるスタイラス・ホルダーポートにインストールできます (インストールの手順については、以下の図 8 参照)。スタイラスペンを使用しないときは、スタイラスペン・ホルダーに保管します。スタイラスペンを頻繁に使用するときは、**Elo** タブレット・ストリングホールとスタイラスペンをひもで結んで無くさないようにしてください。スタイラスペン・ホルダーポートならびにスタイラスペン・ストリングホールの場所については、第 1 章のタブレットのレイアウトをご参照ください。

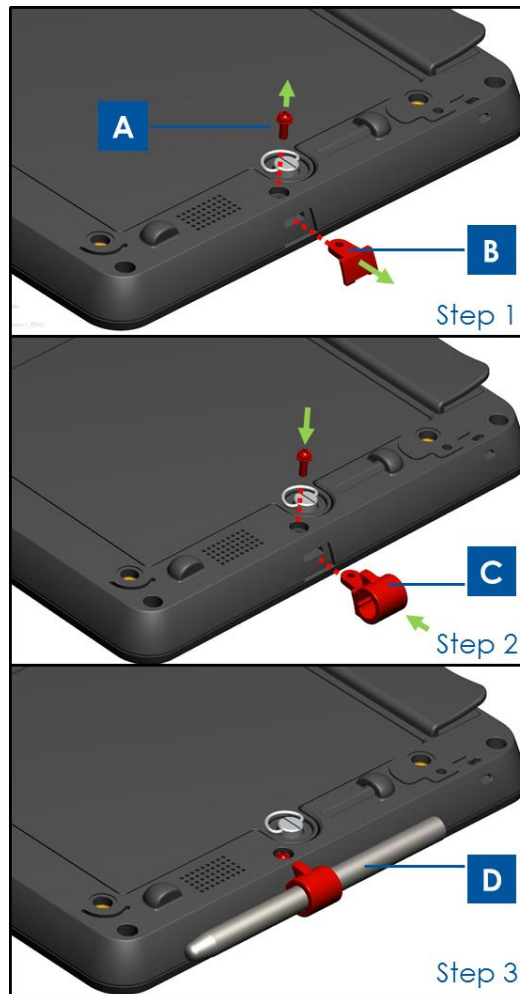


図8. スタイラスペン・ホルダーをタブレットにインストールする場合：
ステップ1- ネジ (A) をゆるめて外し、スタイラスペン・ホルダー・ポートカバー (B) を外します。
ステップ2- スタイラスペン・ホルダー (C) をポートに差し込んで、タブレットの裏面にねじを締めて固定します。
ステップ3- スタイラスペン (D) を使用しないときはスタイラスペン・ホルダーに保存します。

スクリーンロック・モード

データの不正使用や不正アクセスを防止するために、使用しないときはタブレットをロックします。Windows Embedded Standard 7 (WES 7) で操作する場合は、**Control panel** (コントロールパネル) > **All Control panel items** (すべてのコントロールパネル項目) > **power options** (電源オプション) > **Systems Settings** (システム設定) の順にスタンバイモードを設定してパスワード保護を設定します。.

決済機能

Elo タブレットには決済処理のために 3 つの機能を搭載しています。磁気スワイプリーダー (MSR)、スマートカードリーダー (SCR)、近距離無線通信 (NFC) の 3 つの機能です。

磁気ストライプリーダー (MSR)

磁気ストライプカードはカードの磁気帯にデータを格納できる一種のカードです。磁気ストライプ (スワイプカード、**magstripe** と呼ばれる) は磁気読取ヘッドをスワイプして読み取ります。タブレットはトラック 1、2、3 のみつつのトラックを読み取ることができます。トラック 3 は世界の主要カード処理ネットワークでは使用しない場合が多く、磁気ストライプが狭くなっているため物理的にカードに記録されないことが多くなっています。販売時のカードリーダーは大抵の場合トラック 1 あるいはトラック 2 を読み取り、どちらかのトラックが読み取りできないときのために両方読み取ることができるものもあります。取引を完了させるために必要なカード所有者の最低限の情報が両方のトラックに記録されています。トラック 1 のビット密度はより高く (1 インチ当たり 210 ビット、それに対してトラック 2 は 75 ビット)、アルファベットの文字を記録できる唯一のトラックなのでカード所有者の名前を記録できる唯一のトラックでもあります。

スマートカードリーダー (SCR)

スマートカードリーダーはスマートカードやチップカード、集積回路を埋め込んだポケットサイズのカードのような IC カードを読み取ることができます。SCR は EMV (Europay (欧州のユーロペイ)、MasterCard、Visa) の標準カードを読み取ることができます。

近距離無線通信 (NFC)

近距離無線通信 (NFC) はスマートフォンなど同様装置の一定基準で、通常、数センチ以下の極短距離で互いに接触したり近くに置いたりして無線通信を確立します。非接触の取引やデータ交換などが現在使用され、今後使用される予定です。NFC 装置や「タグ」と呼ばれる NFC チップとの通信が可能になります。NFC リーダーは通信プロトコルやデータ交換形式で基準を満たしており、ISO/IEC 14443 や FeliCa などの既存無線自動識別 (RFID) 基準を基にしています。この基準には ISO/IEC 18092 など NFC フォーラムが規定するものがあります。

Elo タブレット Diagnostic Suite

Elo タブレット Diagnostic Suite はシステムの情報を提供するツールで、ユーザーはタブレットのさまざまなハードウェアや内蔵周辺機器の機能を検査・コントロールできます。Elo タブレット Diagnostic Suite は初期設定でタブレットに工場出荷時にインストールされています。Windows で操作する場合、Elo タブレット Diagnostic Suite は次のようにコントロールパネルからアクセスできます。Control Panel（コントロールパネル）\All Control Panel Items（すべてのコントロールパネル項目）\ EloDiagSuite

メインダッシュボード：

アイコンをクリックしてメインダッシュボードから Elo タブレット Diagnostic Suite のさまざまなアプリケーションにアクセスできます（図 9a 表示）。「終了」ボタンをタッチあるいはクリックすると、Elo Diagnostic Suite を終了します。

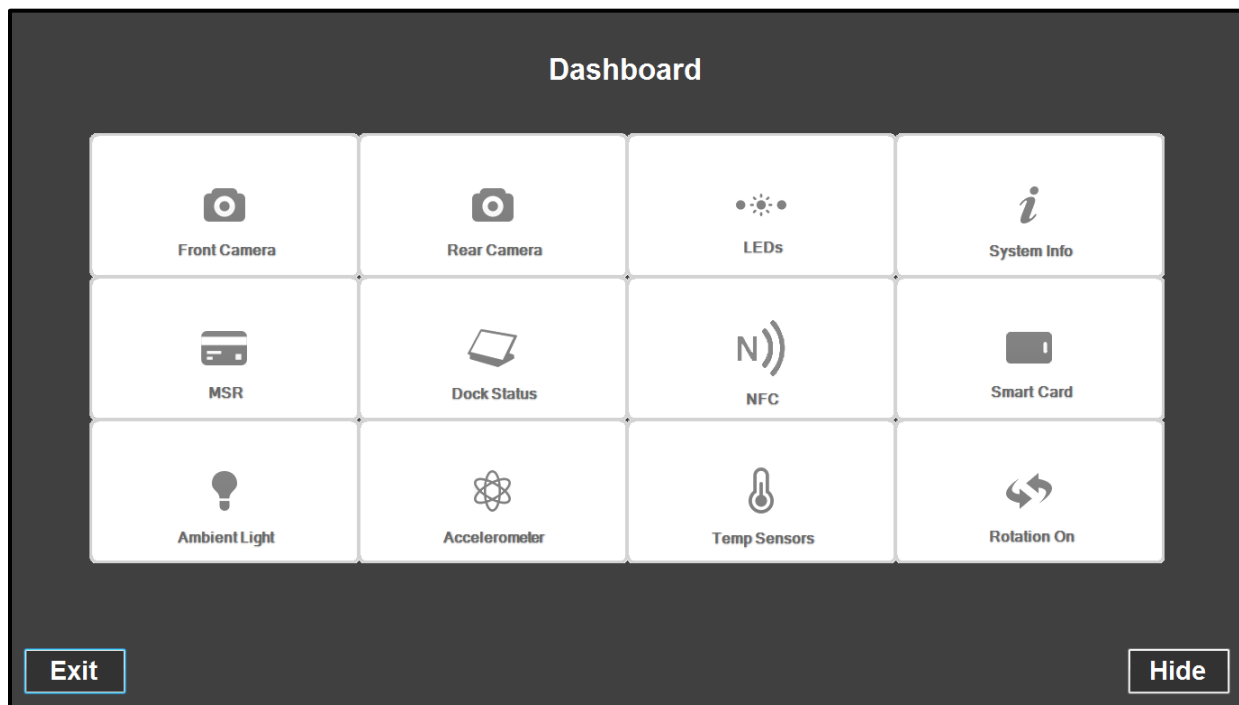


図 9a. Elo タブレット Diagnostic Suite のメインダッシュボード

アプリケーション - フロントカメラ :

このアプリケーションを使ってフロントカメラの機能をテストします。

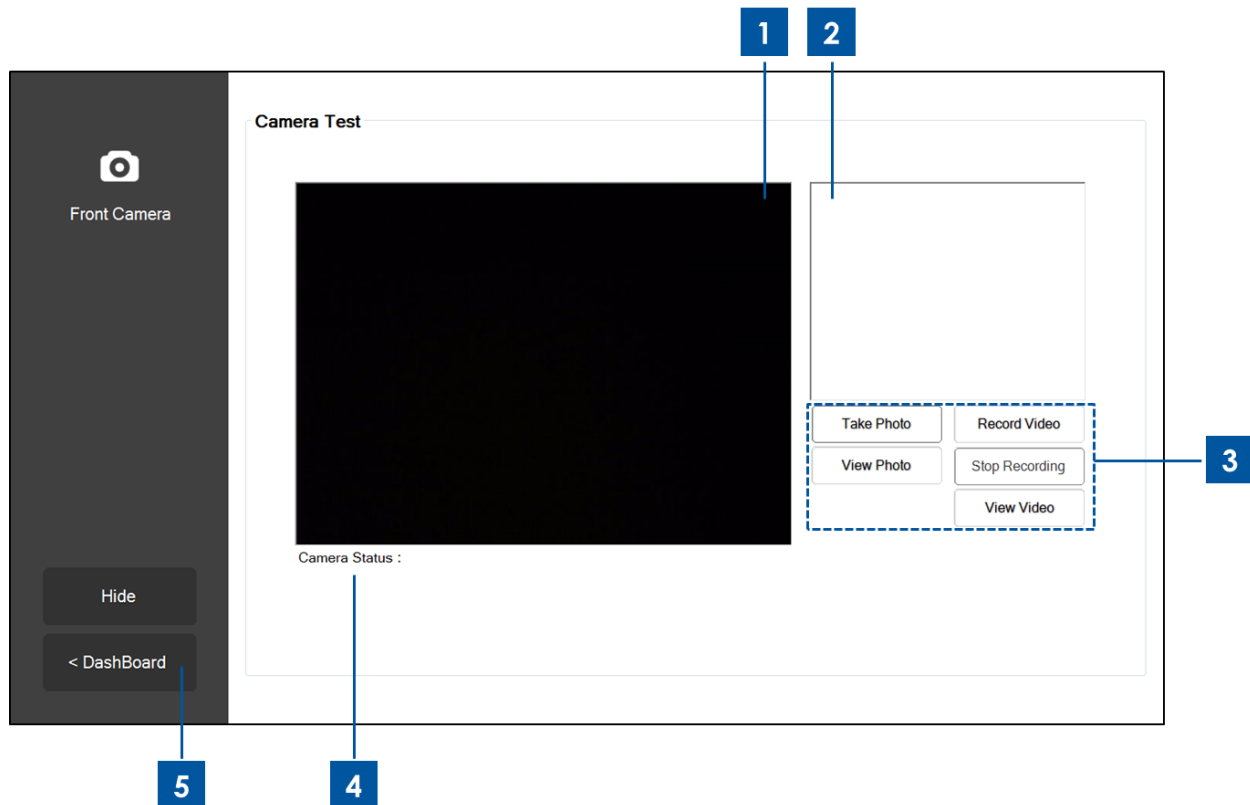


図 9b. Elo タブレット Diagnostic Suite のフロントカメラ・アプリケーション

1. フロントカメラがキャプチャすることを表示するメインディスプレイ。
2. このアプリケーションで写真を捕らえると、このウィンドウに写真が表示されます。
3. タッチあるいはクリック :
 - “「**Take Photo** (写真を撮る)」ボタンはフロントカメラの画像をキャプチャします。
 - “「**View Photo** (写真の表示)」ボタンはキャプチャした画像を Windows Image Viewer で表示します。
 - “「**Record Video** (ビデオ録音)」ボタンはフロントカメラでビデオを録音します。
 - “「**Stop Recording** (録音停止)」ボタンはビデオの録音を停止します。
 - “「**View Video** (ビデオ表示)」ボタンはキャプチャしたビデオを Windows Media Player に表示します。
4. ビデオや写真をキャプチャした後、写真/ビデオを保存したファイルの行き先 (ファイル名とフォルダ) はここで表示されます。
5. 「< Dashboard (ダッシュボード)」をタッチあるいはクリックして、メインダッシュボードに戻ります。

アプリケーション - リアカメラ:

このアプリケーションを使ってリアカメラの機能をテストします。

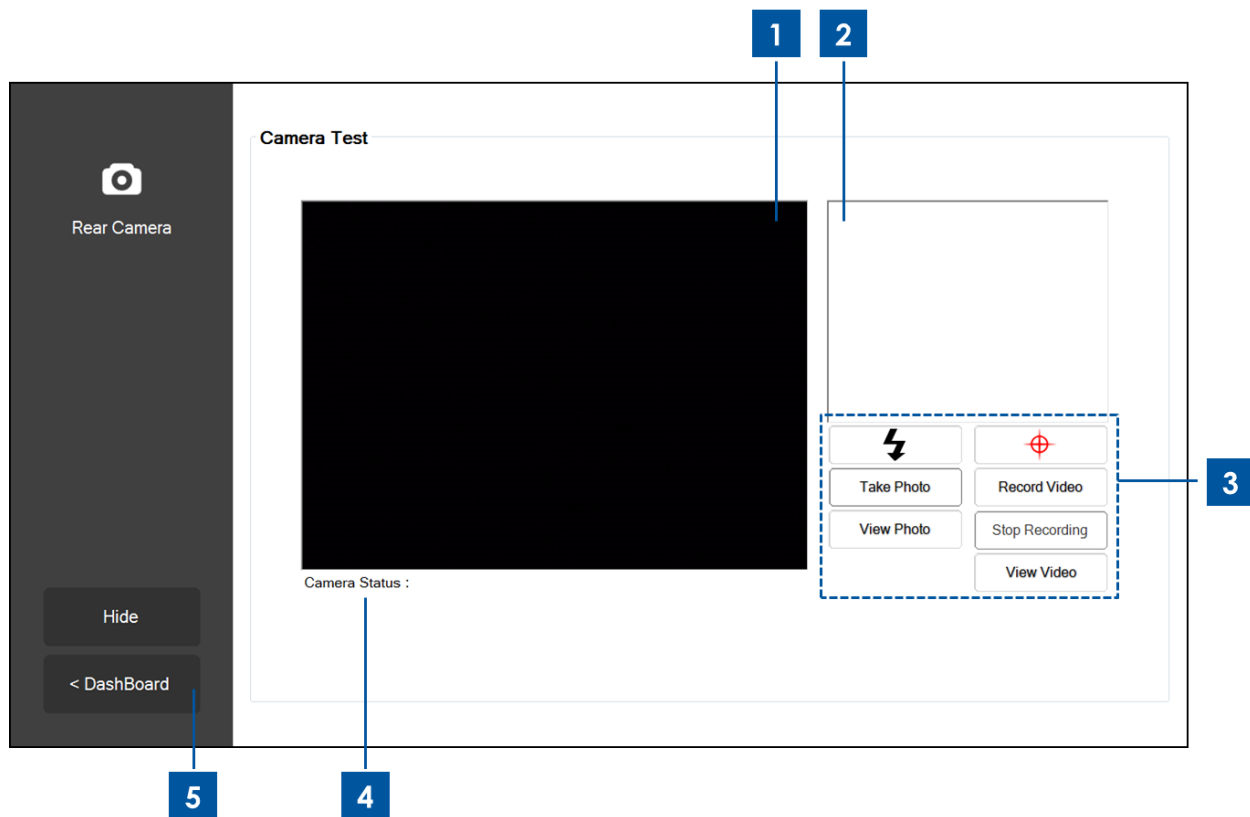




図 9c. Elo タブレット Diagnostic Suite のリアカメラ・アプリケーション

1. リアカメラがキャプチャすることを表示するメインディスプレイ。
2. このアプリケーションで写真を捕らえると、このウィンドウに写真が表示されます。
3. タッチあるいはクリック：
 -  リアカメラの隣りにある「点滅」LED をオン / オフにする。
 -  リアカメラの隣りにある「ポインタ」LED をオン / オフにする。“「**Take Photo (写真を撮る)**」ボタンはリアカメラの画像をキャプチャします。
“「**View Photo (写真の表示)**」ボタンはキャプチャした画像を Windows Image Viewer で表示します。
“「**Record Video (ビデオ録音)**」ボタンはリアカメラでビデオを録音します。
“「**Stop Recording (録音停止)**」ボタンはビデオの録音を停止します。
“「**View Video (ビデオ表示)**」ボタンはキャプチャしたビデオを Windows Media Player に表示します。
4. ビデオや写真をキャプチャした後、写真/ビデオを保存したファイルの行き先（ファイル名とフォルダ）はここで表示されます。
5. 「< **Dashboard (ダッシュボード)**」をタッチあるいはクリックして、メインダッシュボー

ドに戻ります。

アプリケーション - システム情報 :

このアプリケーションはタブレットの要約情報を提供します。

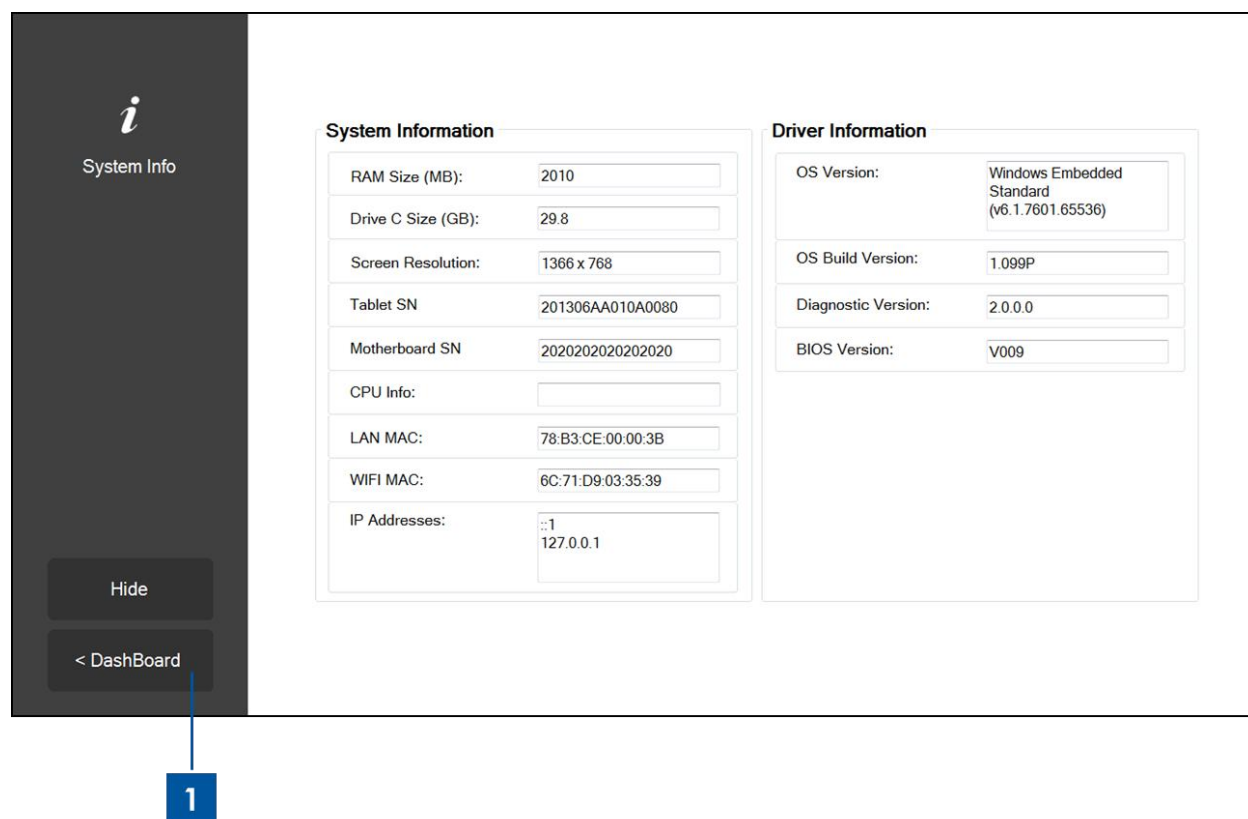


図 9d. Elo タブレット Diagnostic Suite のシステム情報アプリケーション

1. 「< Dashboard (ダッシュボード)」をタッチあるいはクリックして、メインダッシュボードに戻ります。

アプリケーション – LED :

このアプリケーションを使ってタブレットやドック (適用する場合) の LED (発光ダイオード) が適切に機能しているかテストします。



図 9e. Elo タブレット Diagnostic Suite の LED アプリケーション

1. 「**All On (すべてオン)**」 ボタンをタッチあるいはクリックすると、タブレットやドッキング・ステーションの LED がすべてオンになります (タブレットが正しくドックされている場合)。
「**All Off (すべてオフ)**」 ボタンをタッチあるいはクリックすると、タブレットやドッキング・ステーションの LED がすべてオフになります (タブレットが正しくドックされている場合)。
「**Restore Default (初期設定回復)**」 ボタンをタッチあるいはクリックすると、LED は通常の機能に戻ります。
2. チェックボックスを使ってそれぞれの LED を手動でオン/オフにします。
3. 「**< Dashboard (ダッシュボード)**」 をタッチあるいはクリックすると、メインダッシュボードに戻ります。

アプリケーション – MSR :

このアプリケーションを使って、タブレットの磁気スワイプリーダーをテストします。有効な磁気ストライプをスワイプすると、このアプリケーションはタブレットの MSR が磁気ストライプから読み取ったことを表示します。

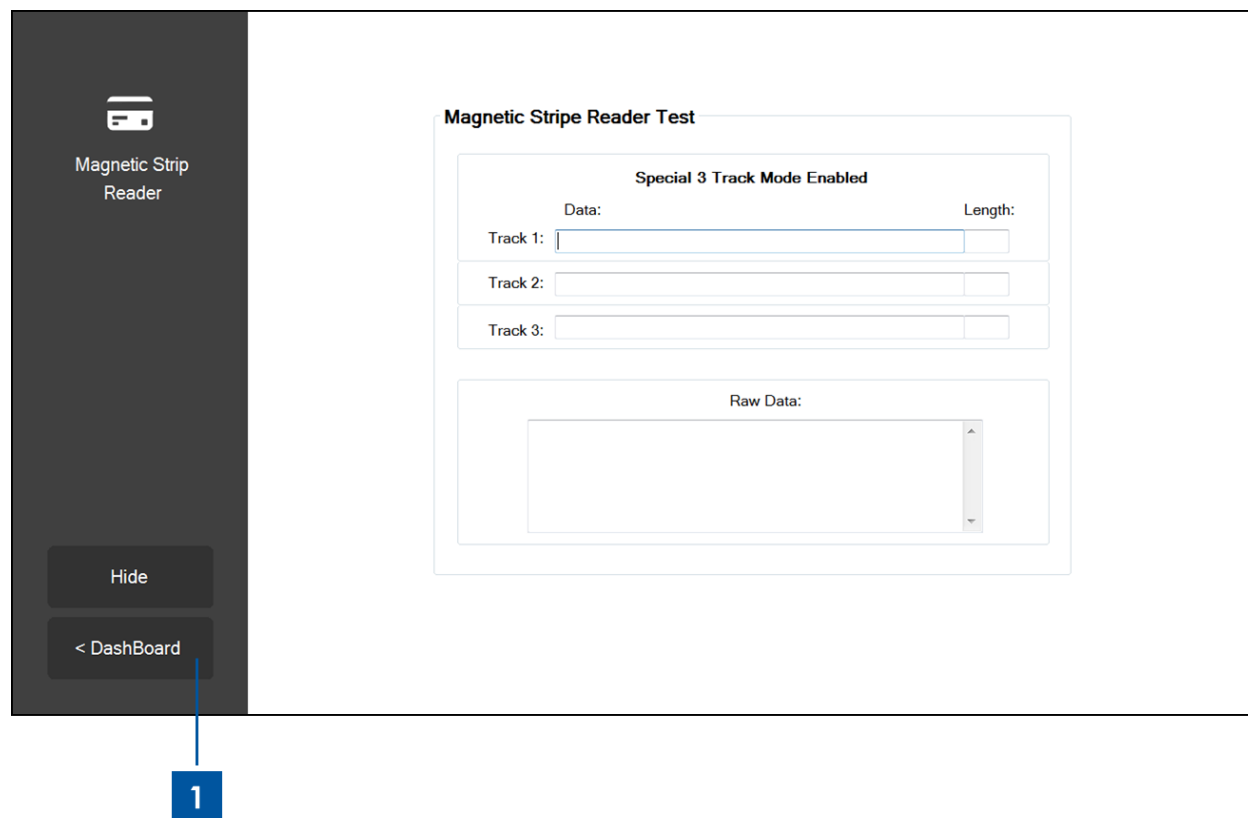


図 9f. Elo タブレット Diagnostic Suite の MSR アプリケーショ

1. 「< Dashboard (ダッシュボード)」をタッチあるいはクリックして、メインダッシュボードに戻ります。

アプリケーション - ドック状況

このアプリケーションはドックしているか否か、タブレットのドッキング状況を表示します。



1

図 9g. Elo タブレット Diagnostic Suite のドック状況アプリケーション

1. 「< Dashboard (ダッシュボード)」をタッチあるいはクリックして、メインダッシュボードに戻ります。

アプリケーション – NFC:

このアプリケーションを使ってタブレットの近距離無線通信(NFC)リーダーをテストします。NFCリーダーが有効になると、このアプリケーションはNFC対応装置のアンサートウリセット(ATR)情報、あるいはタブレットのNFCリーダーの近くをタップしたタグを表示します。

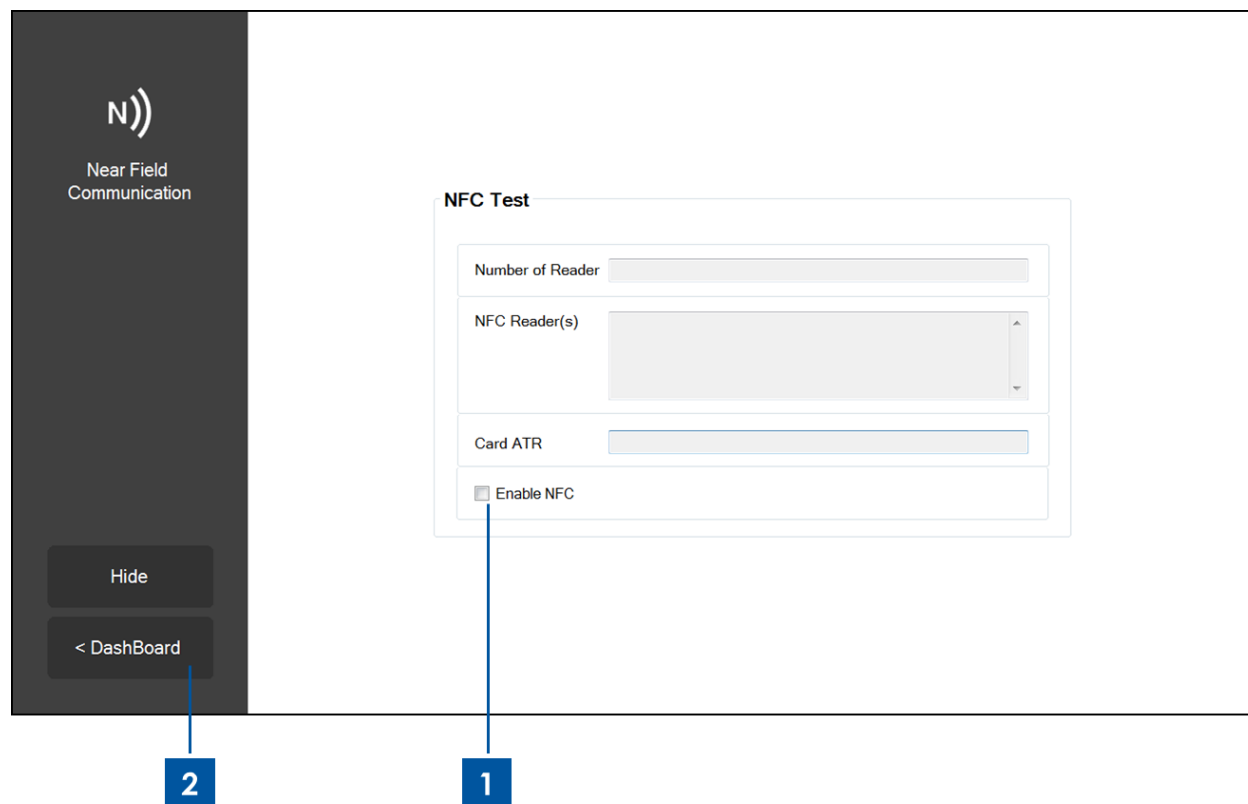


図 9h. Elo タブレット Diagnostic Suite の NFC アプリケーション

1. ボックスをチェックして NFCリーダーを有効にし、チェックマークを外してオフにします。
2. 「< Dashboard (ダッシュボード)」をタッチあるいはクリックして、メインダッシュボードに戻ります。初期設定で、NFCリーダーはオフになります。

アプリケーション - 加速度計 :

このアプリケーションはタブレットの加速度計の読み取りを表示します。 加速度計はタブレットの加速を **G** 単位で読み取ります。 ($G = 9.81 \text{ m/s}^2$)

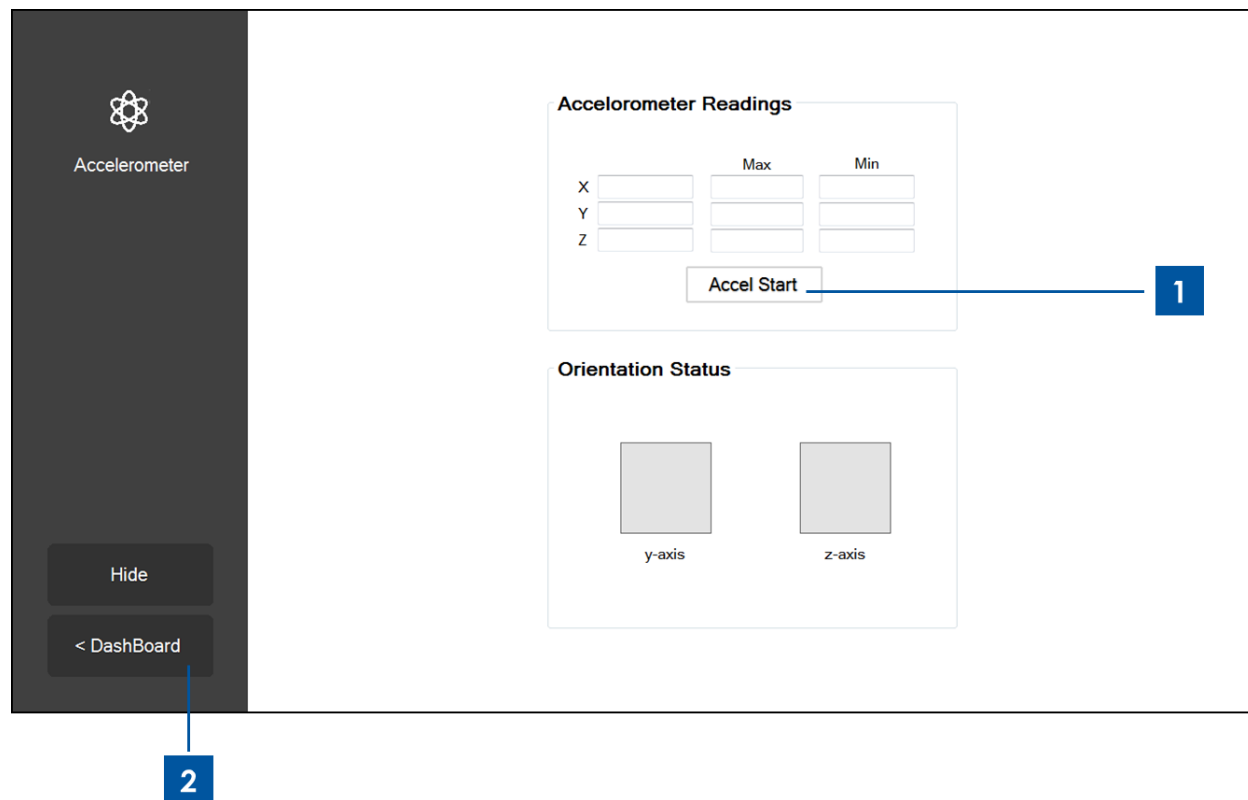


図 9i. Elo タブレット Diagnostic Suite の加速度計アプリケーション

1. 「**Accel Start (加速開始)**」 ボタンをタッチあるいはクリックすると、タブレットの加速度計の読み取りを表示します。「**Accel Stop (加速停止)**」 ボタンをタッチあるいはクリックして停止します。
2. 「**< Dashboard (ダッシュボード)**」 をタッチあるいはクリックして、メインダッシュボードに戻ります。

アプリケーション - スマートカード：

このアプリケーションを使ってタブレットのスマートカードリーダー(SCR)をテストします。スマートカードをスマートカードリーダーに挿入すると、このアプリケーションは SCR がスマートカードから読み取ったことを表示します。

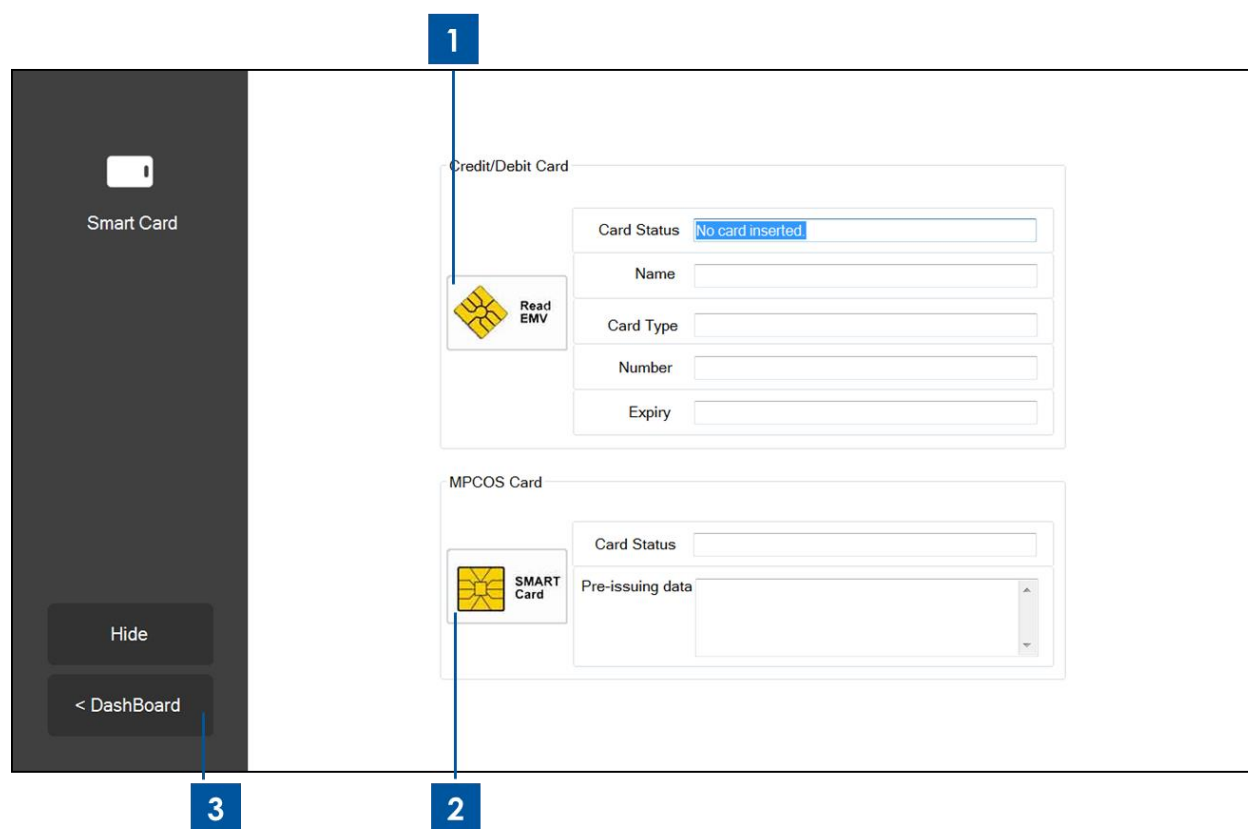


図 9j. Elo タブレット Diagnostic Suite のスマートカード・アプリケーション

1. 「**Read EMV (EMV 読み取り)**」アイコンをタッチあるいはクリックすると EMV (Europay (ユーロペイ)、Mastercard、Visa) カードに保存の情報を表示します。
2. 「**Read MPCOS (MPCOS 読み取り)**」アイコンをタッチあるいはクリックすると、MPCOS カードに保存のデータを表示します。
3. 「**< Dashboard (ダッシュボード)**」をタッチあるいはクリックして、メインダッシュボードに戻ります。

アプリケーション - 周辺光センサー :

このアプリケーションを使ってタブレット内蔵の周辺光センサーの測定値を読み込みます。

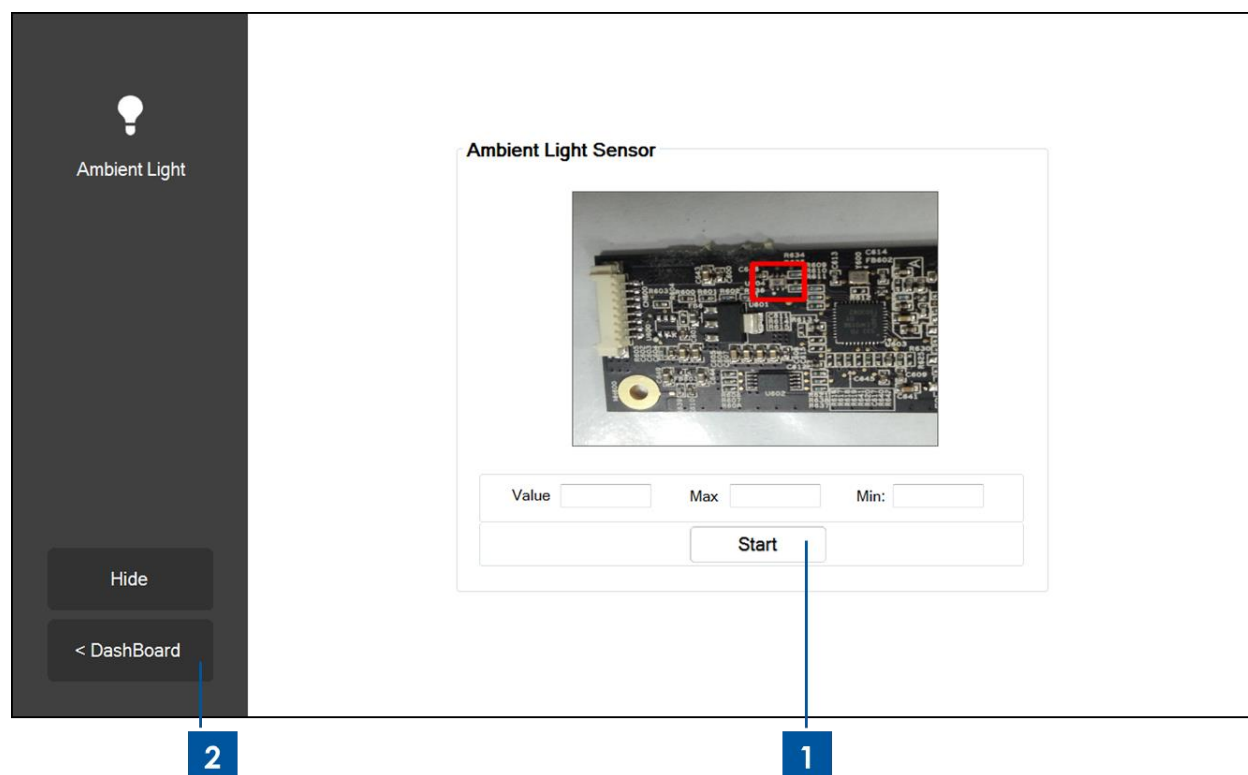


図 9k. Elo タブレット Diagnostic Suite の周辺光センサー

1. 「**Start (開始)**」ボタンをタッチあるいはクリックして、周辺光センサーの照度測定値をルクス単位で表示します (光センサーが到達する光の量)。
“「**Value (値)**」欄は瞬時の照度測定値を表示します。
“「**Max (最大値)**」欄は「**Start (開始)**」ボタンを前回タッチあるいはクリックしてからの最高照度測定値を表示します。
“「**Min (最小値)**」欄は「**Start (開始)**」ボタンを前回タッチあるいはクリックしたからの最小照度測定値を表示します。
「**Stop (停止)**」ボタンを押して照度の測定を停止します。
2. 「**< Dashboard (ダッシュボード)**」をタッチあるいはクリックして、メインダッシュボードに戻ります。

アプリケーション - 温度センサー

このアプリケーションはさまざまなシステムの温度センサーの温度測定値を表示します。

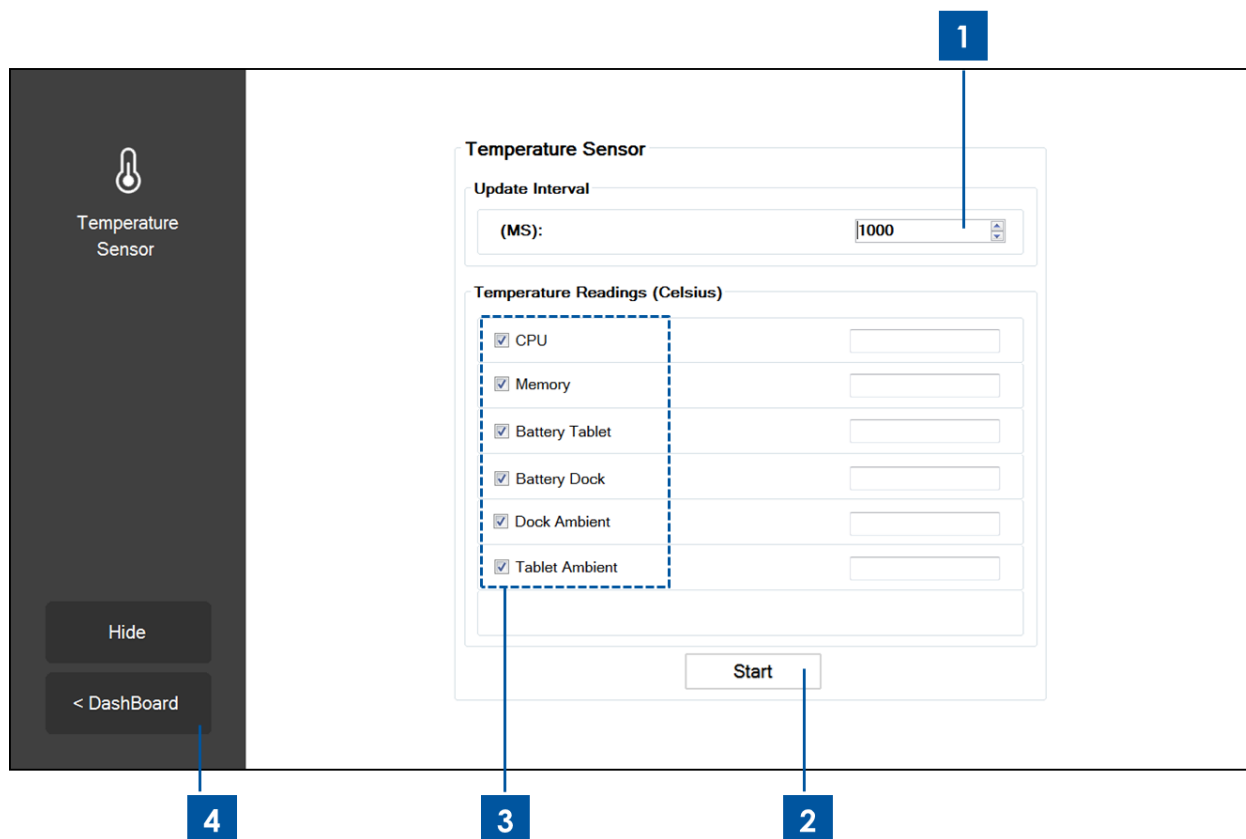


図 9l. Elo タブレット Diagnostic Suite の温度アプリケーション

1. この欄を使って、温度センサーの連続測定値の時間間隔を設定します（ミリ秒）。
2. これらのボックスをチェック / アンチェックして、どの温度センサーの測定値を表示するかを選択します。
3. 「< Dashboard（ダッシュボード）」をタッチあるいはクリックして、メインダッシュボードに戻ります。

回転制御

タブレットはスクリーンの自動回転に対応します。メインダッシュボードの回転アイコンは自動回転機能の状況を表示します。このアイコンをタッチあるいはクリックすると、タブレットの自動回転機能を無効/有効にします。タブレットの自動回転機能がオンになると、「**Rotation on（回転オン）**」が表示され、タブレットの自動回転機能がオフになると、「**Rotation off（回転オフ）**」が表示されます。



図 9m. 自動回転機能がオンのときのメインダッシュボードの回転アイコン

第3章：ドッキング・ステーション

一般取付情報

Elo タブレットのドッキング・ステーションは別売でお求めいただけます (**P/N E518363**)。ドッキング・ステーションはキーボードやキャッシュドローア、プリンターなどのような周辺機器に対応するためにコネクタやインターフェースが追加で提供されます。Elo タブレットとドッキング・ステーションはタブレットや予備バッテリーがドックを通して充電できるように設計されています。

ドッキング・ステーションの開梱

ドッキング・ステーションを開梱する場合：

1. 箱を開けます。
2. 以下の品が揃っているか、良い状態であるかを確認してください。
 - a. ドッキング・ステーション、取り外し可能なケーブルカバー付き
 - b. クイックインストールガイド
 - c. AC/DC 電源アダプターキット
 - i. AC/DC 電源アダプター、DC 電源ケーブル付き
 - ii. 充電器プラグアダプター（北米、欧州/韓国、英国用）
 - d. ドック・ロックとドック・ケーブルカバー・ロックを簡単にロック/アンロックするための鍵2つ
3. 保護バッグ/カバーや乾燥剤などの包装材を丁寧に取り外します。この際、小さなお子さんの手に届かないように、十分に注意してください。
4. ドッキング・ステーションはタブレットとすぐに使える状態になっています。

タブレットのドッキング手順

Elo タブレットをドッキング・ステーションにセットする場合：

- 以下の図10に表示のように、上部ドック・アライメントピンが上部ドック・ピンポートに、底部ドック・アライメントピンが底部ドック・ピンポートに合うようにタブレットを調整します。タブレットをドッキング・ステーションに適切に固定するためには、ドック-タブレット・コネクタがタブレット-ドック・コネクタと結合し、上部と底部ドック・アライメントピンがタブレットの上部と底部ドック・ピンポートにスライドしてそれぞれ固定しま

す。

- タブレットの後面をドッキング・ステーションの前面に寄り掛かるようにして、カチッという音がするまでタブレットをドッキング・ステーションにゆっくりとスライドします。
- これで、タブレットはドッキング・ステーションに正しくセットしました。



図10. タブレットのドッキング・ステーション取り付け。
(A) 上部ドック・アライメントピンと上部ドック・ピンポートを合わせる。
(B) 底部ドック・アライメントピンと底部ドック・ピンポートを合わせる。

ドックしたタブレットと外部周辺機器の接続

タブレットがドッキング・ステーションに正しくセットされたとき、タブレットはドッキング・ステーションの接続やインターフェースに接続し、利用できるようになります。接続やインターフェースにアクセスする場合：

1. ドック・ケーブルカバーロックを「アンロック」の位置にして、ドック・ケーブルカバー解除ボタンを押し、ドック・ケーブルカバーをドッキング・ステーションから離すようにスライドしてドック・ケーブルカバーを取り外します。
2. AC/DC 電源アダプターキットをドッキング・ステーション電源ポートに接続して、タブレットや予備バッテリーをドッキング・ステーションを通して充電します。
3. VGA ポートを使って外部ビデオディスプレイとタブレットを接続します。
4. USB ポートを使って外部周辺機器とタブレットを接続します。
5. ドック・ケーブルカバーをカチッという音がするまでドック・ステーションにスライドして戻し（以下、図11表示）、ケーブルカバーを再度取り付けます。ドック・ケーブルカバーにはケーブルを通す開口部があります。

注記：ドック・ケーブルカバーロックが「ロック」の位置になっていると、ドック・ケーブルカバーをドッキング・ステーションに適切に取り付けることはできません。ドック・ケーブルカバーロックが「アンロック」の位置にあることを確認してから、ドック・ケーブルカバーをドッキング・ステーションに戻してください。

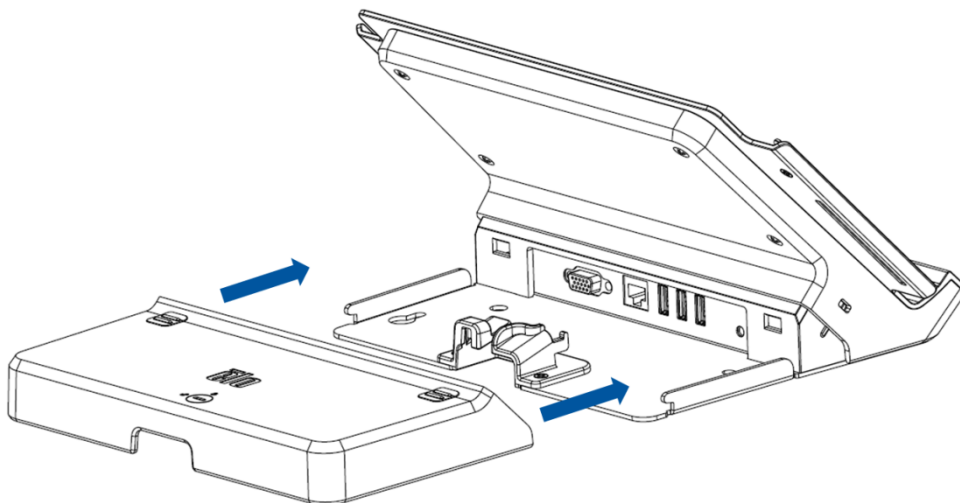


図11. ケーブルカバーをドッキング・ステーションにスライドして戻す

第4章：操作

電源

タブレットの電源を入れたり切ったりするには、タブレットの電源ボタンを1度だけ押します。タブレットがドッキング・ステーションにセットされているときは、ドッキング・ステーションの電源ボタンを使ってタブレットの電源を入れたり切ったりできます。

タブレットの電源を正しく切るには、操作システムの一般的な電源切断手順に従います。タブレットの電源を急いで切るには、タブレットの電源が切れるまでどちらかの電源ボタンを押したままにして電源を切ります。タブレットがこれに反応しないで電源ボタンで電源が切れない場合は、バッテリーを取り外してタブレットをリセットします。

タブレットやドッキング・ステーションにある電源表示盤LEDは以下の表に従って機能します。

タブレット/ドックの状況	LED の状況
OFF (オフ)	OFF (オフ)
SLEEP (スリープ)	点滅
ON (オン)	ON (オン)

装置がSLEEP (スリープ) やOFF (オフ) モードのときは電力消費量が低くなります。長期間にわたって使用しないことが分かっているときはタブレットの電源を切って節電します。

電力消費の仕様詳細に関しては、Elo ウェブサイト www.elotouch.com の技術仕様をご参照ください。

Elo タブレットの最大電圧や周波数、電流は以下の電力定格表をご覧ください。

	動作電圧 範囲	動作周波数範囲	動作電流範囲
タブ レ ット	100 ~ 240Vac	50/60 Hz	0.15~0.35A

タブレットをスリープにする場合：

タブレットの電源を切る代わりに「スリープ」オプションを使ってタブレットをスリープ状態にします。Windows の節電オプションを使って、一定時間操作がないときに自動的にタブレットをスリープにすることもできます。



図12a. タブレットをスリープにするには、「スリープ」をタッチする

電源管理設定は初期設定でタブレットに設定されています。タブレットの表示はエネルギー節約のため、15分間何も活動がないときはスリープモードに入るように設定されています。

Windows 7 で実行する電源管理をタブレットに手動で有効/設定する場合：

- Control Panel (コントロールパネル) の「Power Options (電源オプション)」のアイコンをタッチ/選択します。これによってPower Options (電源オプション) のウィンドウが開きます。

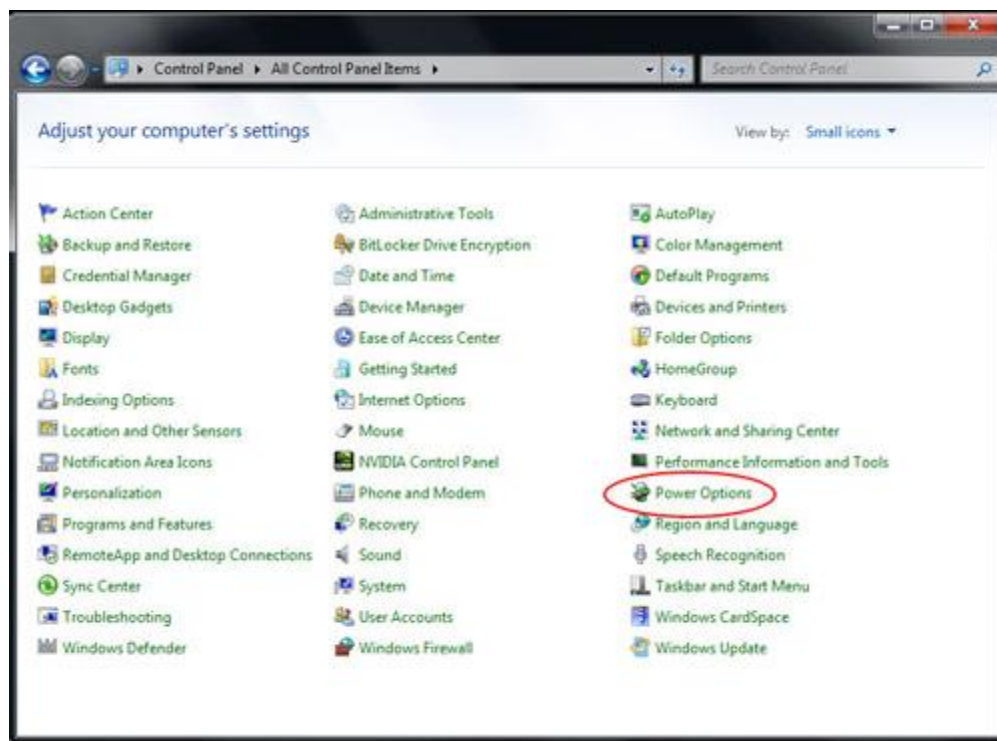


図12b. Control Panel (コントロールパネル) からPower Options (電源オプション) ウィンドウにアクセス

- Power Options (電源オプション) ウィンドウで、「Change plan setting (計画設定の変更)」オプションをタッチ/選択して事前設定した設定をカスタマイズします。これによって、Edit Plan Setting (計画設定の編集) ウィンドウが開きます。

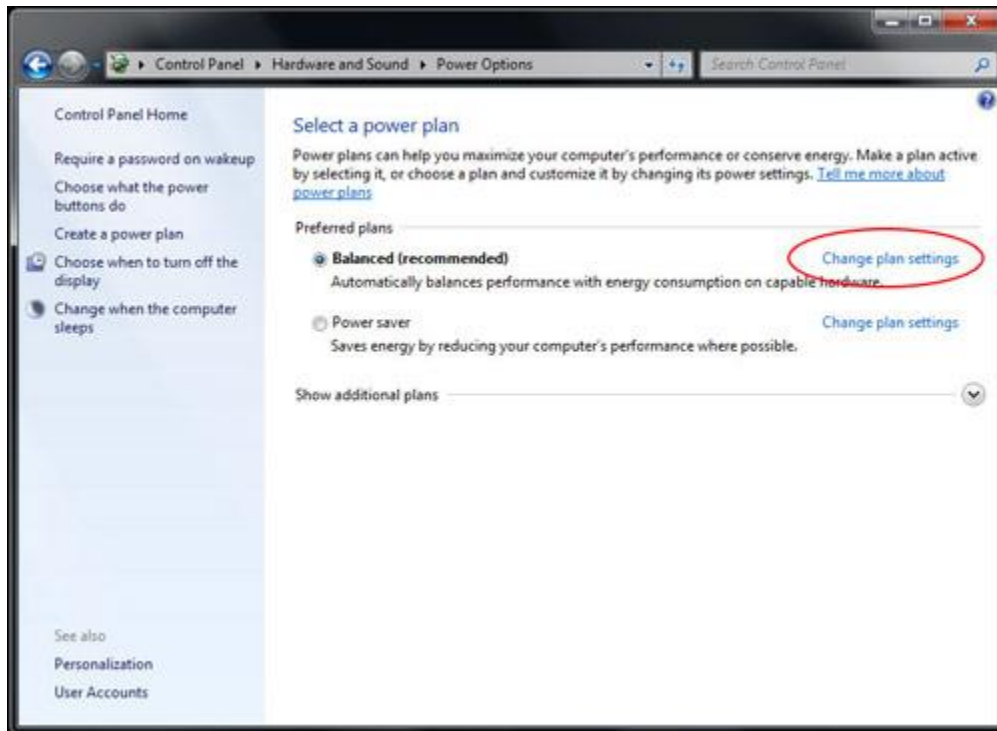


図12c. Power Options (電源オプション) ウィンドウの「Change plan setting (計画設定の変更)」オプション

- 表示が暗くなったりオフになる前やタブレットがスリープ状態になる前に (両方ともタブレットが電源に差し込まれているとき、あるいはバッテリーで実行しているとき)、**Edit Plan Setting (計画設定の編集)** ウィンドウで非活動時間を設定します。

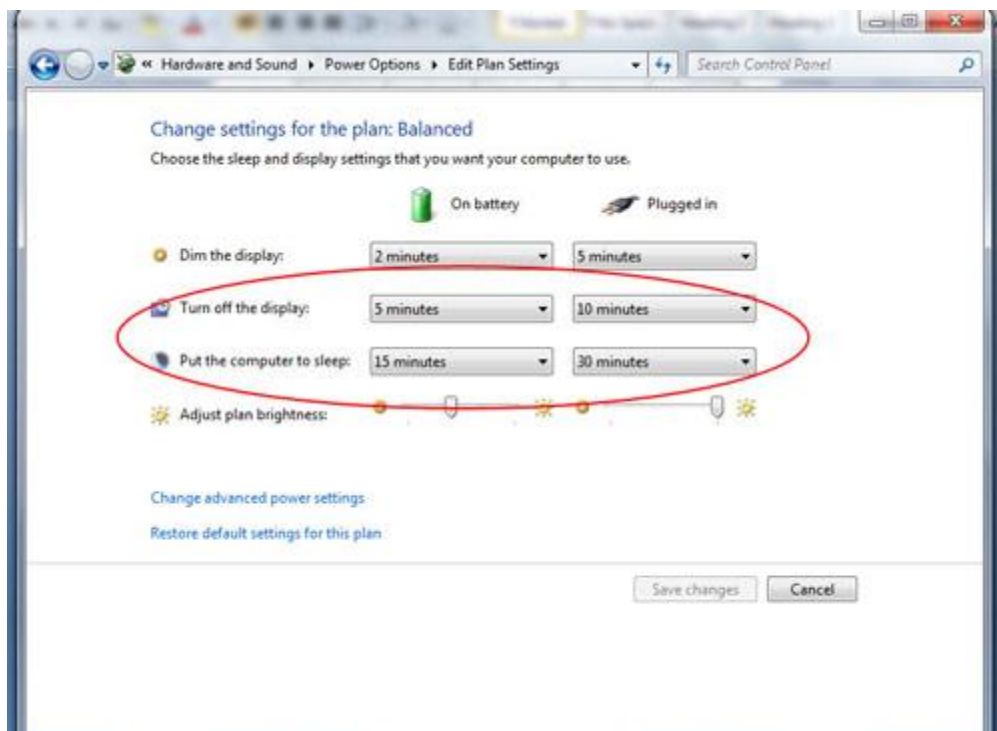


図12d. 表示が暗くなったりオフになる前やタブレットがスリープ状態になる前に、ユーザーは**Plan Setting (計画設定の編集)** ウィンドウで非活動時間を設定できます。

- その他の電源管理オプションを設定するには、「**Change advanced power settings (詳細電**

源設定の変更)」をタッチあるいはクリックして詳細電源オプションの設定にアクセスします。

付録：

米国経済企画庁（EPA）ではコンピュータの非活動時間が15~60分でスリープモードに入るように設定するように推奨しています。 エネルギーをさらに節約するには、非活動時間が5~20分でスリープモードに入るように表示を設定します。 スリープモードに入る前の非活動時間数が低ければ低いほど、エネルギーを節約できます。

注記：タブレットはネットワークファイルが開いているとスリープモードに入りません。 グラフィックの多いスクリーンセーバーもタブレットがスリープモードに入らないようにしますので、無効にしてください。 無効にしないと、Windows 7 は、ソフトウェア・アプリケーションがタブレットがスリープ状態に入らないように許可しません。 ネットワーク管理者はアプリケーションが作動しているときにスリープを「拒否」してこの設定を変更できます。 設定は Group Policy（グループ・ポリシー）を通して変更できますが、Control Panel（コントロール・パネル）のPower Option（電源オプション）ウィンドウでは設定できません。

参照：

<http://windows.microsoft.com/en-US/windows7/Power-plans-frequently-asked-questions>

<http://windows.microsoft.com/en-US/windows7/Change-what-happens-when-you-press-the-power-button-on-your-computer>

タブレットをスリープ状態から戻す場合：

タブレットがスリープモードのときは、スクリーンをタッチしたり（可能な場合）電源ボタンを1度押すとタブレットはスリープモードから通常の動作状態に戻ります。

自動的にタブレットを一定時間で起こすことも可能です。 これはタスクの予定を作って行います。 このためには以下の手順に従います。

- Start（開始） ボタンをタッチ/クリックします
- Start（スタート）メニューの検索ボックスに**Task Scheduler**（タスク・スケジューラ）をタイプします
- Enter（入力）をタッチ / クリックするか、検索結果から**Task Scheduler**（タスク・スケジューラ）をタッチ / 選択します。 **Task Scheduler**（タスク・スケジューラ）ウィンドウが表示されます。

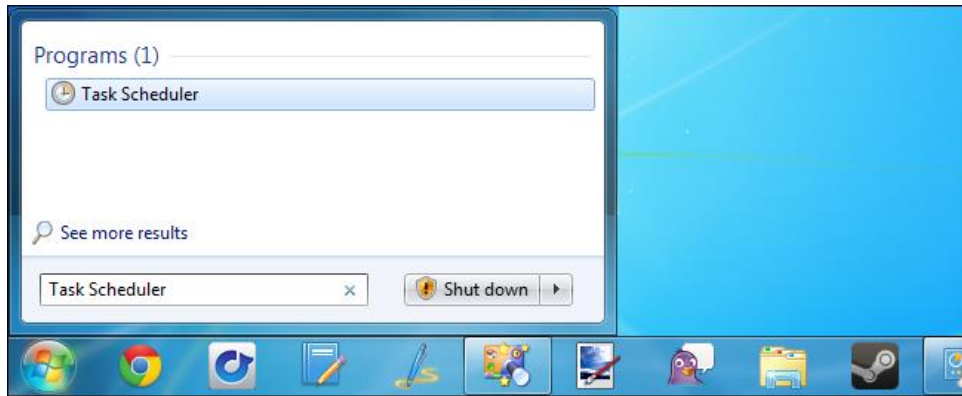


図12e. Start (スタート) メニューの検索ボックスにTask Scheduler (タスク・スケジューラ) をタイプし、検索結果からTask Scheduler (タスク・スケジューラ) を選択します。

- Task Scheduler (タスク・スケジューラ) ウィンドウで、**Create Task** (タスク作成) をタッチ / 選択して新しいタスクを作成します。これによって、**Create Task** (タスク作成) ウィンドウが開きます。

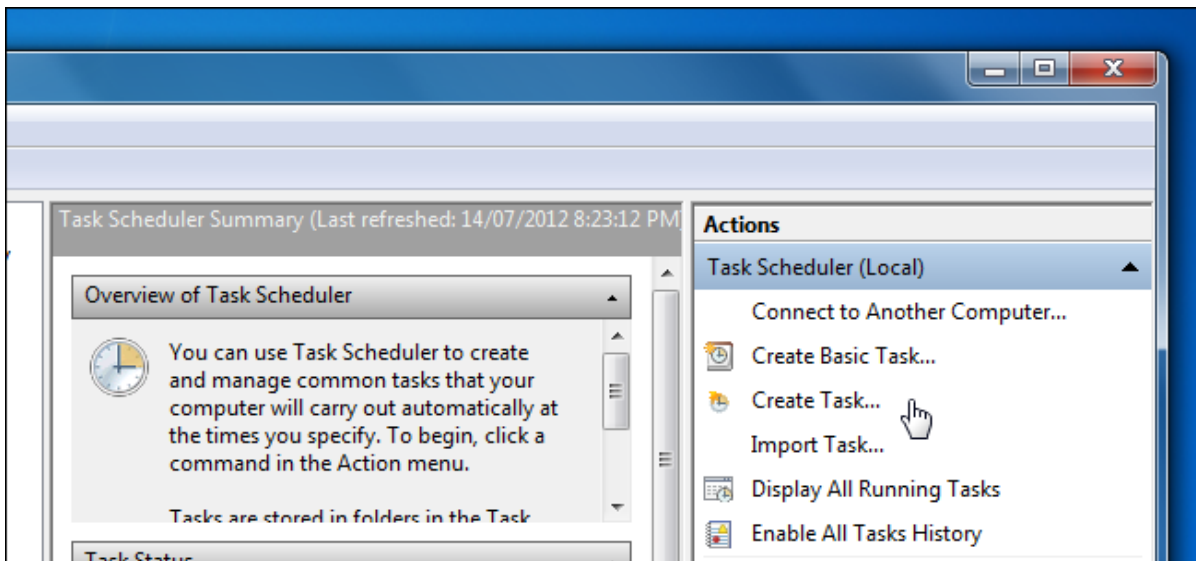


図12f. Create Task (タスク作成) をタッチ / 選択して新しいタスクを作成します。

- **Create Task** (タスク作成) ウィンドウの**General** (全般) タブで、タスクに名前を付け (例：、スリープから戻す) ユーザーがログオンした場合だけタスクの実行を許可するかを選択します。タスクを「**Run with highest privileges** (最上位の特権で実行する)」に設定します。

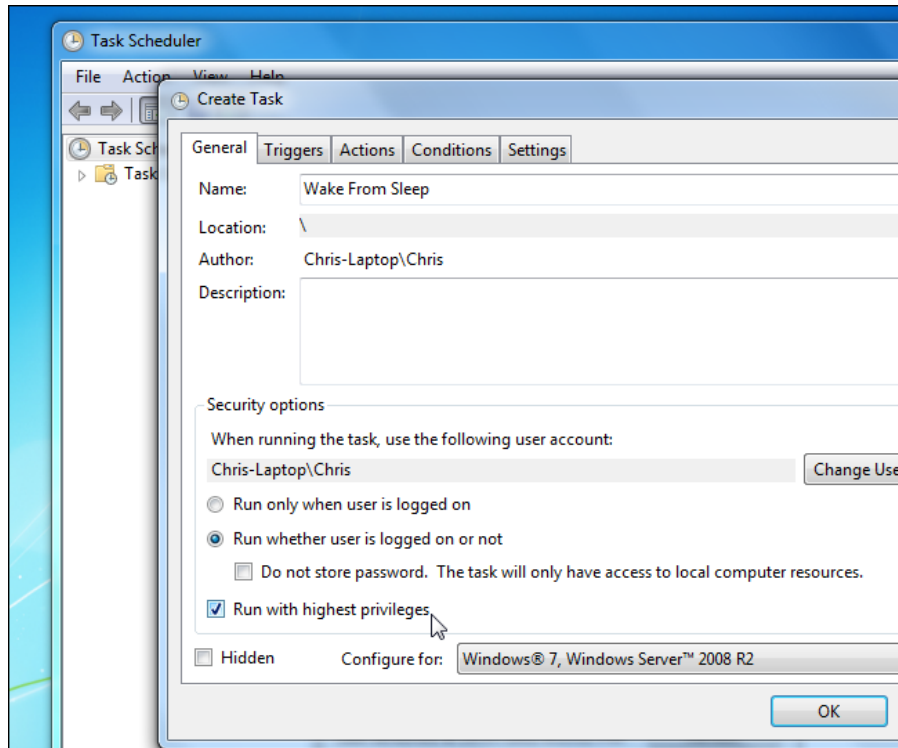


図12g. Create Task (タスク作成) ウィンドウのGeneral (全般) タブ

- Create Task (タスク作成) ウィンドウのTriggers (トリガー) タブで、「New (新規)」をタッチ / 選択して新しいトリガーを作成します。タスクを実行するご希望の時間を設定します。「OK」をクリックします。

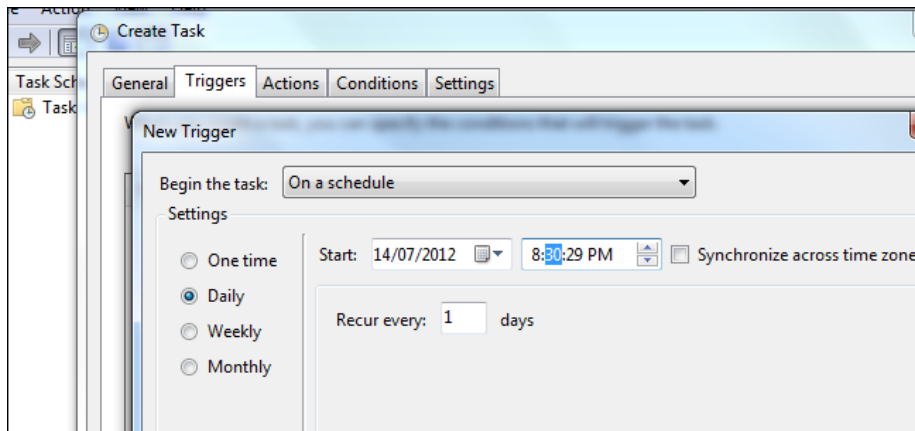


図2f. New Trigger (新規トリガー) ウィンドウからタスクのスケジュール設定

- Create Task (タスク作成) ウィンドウのCondition (条件) タブで、「Wake the computer to run this task (このタスクを実行するためにコンピュータのスリープ状態を解除)」オプションを有効にします。

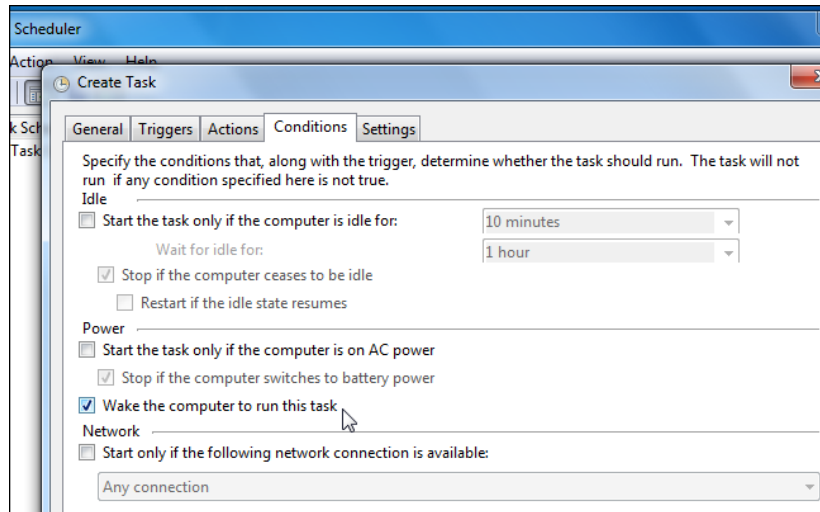


図12i. Create Task (タスク作成) ウィンドウで、「Wake the computer to run this task (このタスクを実行するためにコンピュータのスリープ状態を解除)」オプションを有効

- それから、実行するタスクを1つ以上特定します（例：ファイル・ダウンロードプログラム開始のタスク）。プログラムを実行しないでシステムのスリープ状態を解除するには、ひとつのオプションとしては**cmd.exe**と**/c "exit"**引数を実行するタスクを設定します。これによって**Command Prompt**（コマンドプロンプト）ウィンドウが開き、すぐに閉じますが、この影響は何もありません。
- 設定を終えてから、新しいタスクを保存します。

タブレットは**Remote Wake-up**（リモートウェイクアップ）でスリープモードを解除できます。**Wake on LAN** 技術は誰かが遠隔からタブレットの電源を入れることを許可するもので、システム管理者が遠隔からコンピュータのメンテナンスを行うために使われることがよくあります。**Wake on LAN** 機能は初期設定でタブレットで無効になっています。この機能を有効にする場合：

- ネットワークと共有センターを開きます。これは、**Start**（開始）ボタンをタッチ / 選択し、**Start**（スタート）メニューの検索ボックスに**Network and Sharing**（ネットワークと共有）をタイプして**Enter**（入力）ボタンを押して実行します。
- ナビゲーションペインの左上にある「**Change adapter settings**（アダプターの設定変更）」をタッチ / 選択します。
- 電源管理のサポートを有効 / 無効にする該当ネットワークの接続を右クリックします。「**Properties**（プロパティ）」をタッチ / 選択します。これで、**Wireless Network Connection Properties**（ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ）ウィンドウが開きます。
- 「**Configure**（設定）」をタッチ / 選択します。
- **Power Management**（電源管理）タブで、「**Allow the computer to turn off this device to save power**（節電のためにコンピュータがこの装置をオフにすることを許可する）」チェックボックスをチェックして、ネットワークアダプターの電源管理を有効 / 無効にします。

- 「Allow this device to wake the computer（この装置がコンピュータのスリープ解除を許可する）」をチェック / アンチェックして、Wake on LAN を有効 / 無効にします。「Only allow a magic packet to wake the computer（コンピュータをスリープ解除するマジックパケットのみを許可する）」チェックボックスをチェックし、Wake on LAN だけがマジックパケットを有効にできるようにします。「OK」をタッチ / 選択します。

注記： ARP Offload および NS Offloads に対応しない装置の場合、Windows はマジックパケットのみをスリープ解除するように既定値に設定します。

バッテリー充電

Elo Touch Solutions社が提供する AC/DC 電源アダプターキットのみでタブレットやバッテリーを充電してください。タブレットのバッテリーには「充電しきい値」があり、このしきい値以下になった場合のみ充電します。タブレット・バッテリーのしきい値は初期設定で 90% に設定されています。バッテリーがこのしきい値以下になると、バッテリーは再度 100% に充電されます。

タブレットにはバッテリー・インジケータLEDが付いており、タブレットのバッテリーの充電状況を表示します。この発光ダイオードは次を表示します。

- バッテリーがフルに充電したときに緑色に点灯。
- バッテリーが充電中のときに琥珀色に点灯。

タブレットのバッテリーがフルに充電できるときは、バッテリーは 80% 以上充電することをお勧めします。過放電の防止のために、タブレットのバッテリーは少なくとも3ヶ月ごとに充電してください。

オーディオ

オーディオはタブレットの内蔵スピーカーで再生できます。ヘッドホンがタブレットのオーディオジャックに接続している場合、内蔵スピーカーはオフになり、オーディオはヘッドホンから再生されます。外部マイクロホンがタブレットのオーディオジャックに接続しているときは、内蔵マイクロホンがオフになります。

第5章：技術サポート

タブレットに不具合がある場合は、次の推奨事項をご参照ください。

不具合が直らない場合は、最寄のディーラーか、Elo Touch Solutions カスタマーサービスまでご連絡ください。

よくある問題の解決方法

問題	提案トラブルシューティング
システムをオンにしてもタブレットが起動しない	AC/DC 電源アダプターキットがきちんと接続しているか、バッテリーが十分か確認してください。 AC電源が機能しているか確認してください。
バッテリーがフルに充電している、あるいはAC/DC 電源アダプターキットがきちんと接続しているのにタブレットが起動しない	バッテリーを取り外して1分間待ち、バッテリーを再度インストールして再度試行してください。
モニターが空白状態になる	電源表示盤LEDが点滅していれば、タブレットはスリープモードになっている可能性があります。電源ボタンを押して、画像が表示されるか確認してください。

技術サポート

技術サポートに関しては、<http://www.elotouch.com/Support/TechnicalSupport/default.asp> をご覧ください。

世界中の Elo 社の連絡先については、本ユーザーマニュアルの最後のページをご参照ください。

第 6 章：安全 & 保守

安全

感電の危険を避けるため、以下の安全上の注意事項に従ってください。また、Elo タブレットは絶対に分解しないでください。Elo タブレットはユーザーが修理できるものではありません。

絶対に通気孔を塞いだり、物を挿入したりしないでください。

Elo タブレットやドッキング・ステーションには AC/DC 電源アダプターキットが付いています。絶対に損傷した AC/DC 電源アダプターキットを使用しないでください。Elo Touch Solutions が提供するタブレットおよびドッキング・ステーション専用の AC/DC 電源アダプターキットを使用してください。許可されていない AC/DC 電源アダプターキットを使用すると、保証が無効になる場合があります。

システムは以下の特定環境条件内で保守・実行するようにしてください。

操作 / 保存の環境条件

温度：

動作	0°C ~ 40°C
保存	20°C ~ 60°C

湿度（結露なし）：

動作	20% ~ 80%
保存	5% ~ 95%

高度：

動作	0 ~ 3,500 m
保存	0 ~ 12,000 m

タブレットのお手入れ / お取り扱い

Elo タブレットが最適レベルで機能するように以下の点に従ってください。

- クリーニングの前に電源ケーブルを外してください。
- タブレット（タッチスクリーンを除く）をクリーニングするときは、柔らかい綿かマイクロファイバーの布を中性洗剤で軽く湿らせてご使用ください。
- 装置は常に濡れないように、乾燥した状態を保つように、十分に注意してください。液体が装置の内側に入ったり上面にかかったりしないように、十分に注意してください。液体が内側に入ってしまった場合は、資格があるサービス技術者に点検してもらってからもう一度電源を入れてください。
- スクリーンの表面を傷つけることがあるので、布やスポンジで拭かないでください。
- タッチスクリーンをクリーニングするときは、窓やガラスのクリーナーを布に適用してクリーニングしてください。絶対に、クリーナーを直接タッチスクリーンや Elo タブレットに適用しないでください。アルコール（メチル、エチル、イソプロピル）、シンナー、ベンジン、研磨剤などを使用しないでください。

タブレット・バッテリーのお手入れ / お取り扱い

バッテリーの取り扱いの際は、以下の点に従ってください。

- リチウムイオン・バッテリーを輸送/発送する際には、リチウムイオン・バッテリーの出荷を規制する地域や国際規制を参照し、順守してください。バッテリーの安全な取り扱いや輸送には、適切な包装、船積書類、ラベル付けなどが義務付けられる場合があります。
- 導電性材料（例：金属）がバッテリーの 2 端子に電子的に接続するとショートする場合があります。バッテリーの取り扱いの際は、バッテリーをショートさせないように気をつけてください。
- 絶対にバッテリーを穿刺・圧搾しないでください。
- 指定の充電器のみを使用してください。
- 絶対に浸水しないでください。
- 火に近づけないでください。
- 小さなお子さんの手の届かない所に保管してください。

電気・電子装置の廃棄

本製品は家庭廃棄物として処理できません。修理やリサイクルができる施設で処理してください。製品は地方法規制に順じてその耐用年数の終わりに処理してください。



Elo 社は世界の特定地域でリサイクルの取り決めをしました。これらの取り決めについての詳細は、<http://www.elotouch.com/AboutElo/ewaste-program/>をご覧ください。.

バッテリーの処理

タブレットのバッテリーは充電式リチウムイオン・バッテリーです。バッテリーは地方法規制に順じてその耐用年数の終わりに処理してください。



第7章：規制情報

I. 電気安全情報：

メーカーのラベルに記載の電圧、周波数、電流などの要件を必ず順守してください。規定の電源と異なったものを接続するなど要件に従わない場合、不適切な稼働、装置への損傷、火災の原因を招く恐れがあります。

本装置内にはユーザーが修理できる部品はありません。本装置が生じる危険電圧があり、安全上の問題を招く恐れがあります。修理は資格があるサービス技術者のみが行ってください。

装置を主電源に接続する前のインストールについてご質問がある場合は、資格のある電気技師またはメーカーにお問合せください。

II. 放射および電磁波耐性情報

米国内のユーザーに対するお知らせ:

本装置は **FCC** 規制第 15 章に順じています。操作の際は、次のふたつの条件が対象です。(1) 本装置は有害な妨害の原因にはなりません。(2) 本装置は望ましくない操作の原因になる妨害を含む、受信したすべての妨害を受け入れなければなりません。

注記：本装置は **FCC** 規則第 15 章に定められたクラス B デジタル装置に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものとして認定されています。これらの規則要件は、住宅で設置した場合に有害な妨害から妥当に保護するためのものです。指示に従って本装置を取り付け、使用しなかった場合、電磁波を発生・使用し、外部に放射することがあり、無線通信に有害な混信を招く恐れがあります。妨害が特定の取り付けに起きないという保証はありません。本装置が無線やテレビの受信に有害な妨害の原因になる場合（装置の電源をオン・オフにすると判断できます）、以下の方法の 1 つかそれ以上を使って妨害を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向や場所を変える。
- 装置とレシーバーの距離を離す。
- 装置を、レシーバーが接続しているのとは異なる回路のコンセントに接続する。
- ディーラーに相談したり、経験が豊富な無線/テレビ技術者に助けを求める。

注意：要件順守の責任がある当事者から明確な承認を得ないで装置を変更・修正した場合、ユ

ユーザーは本装置の操作権利を失う場合がありますのでご注意ください。

カナダの順守表明事項:

本クラス B デジタル装置はカナダの ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

本装置はカナダ産業省の免許免除 RSS 規格に適合します。操作は次のふたつの条件が対象です。(1) 本装置は妨害の原因にはなりません。(2) 本装置は望ましくない操作の原因になる妨害を含む、すべての妨害を受け入れなければなりません。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

カナダ内のユーザーに対するお知らせ:

本装置はカナダ産業省によって無線妨害規制で定められたデジタル装置から放出される電波雑音に関するクラス B 規制に適合しています。

欧州連合国内のユーザーに対するお知らせ:

装置に付属の電源コードと相互接続ケーブルだけを使用してください。規定のコードやケーブル以外を使用すると下記の規格規定の電気安全、放出あるいは電磁波耐性に関する認証マークを損なう可能性があります。

この情報技術装置 (ITE) にはメーカーのラベルに CE マークを付けることが義務付けられており、以下の指示や規格に準拠していることを検査した装置であることを意味します。本装置は欧州規格 EN 55022 クラス B 記載の「EMC 指示 2004/108/EC」および欧州規格 EN 60950 に記載の「低電圧条項 2006/95/EC」に基づいて認証マークの要件に従って検査されました。

すべてのユーザーに対する一般情報:

本装置は無線周波数エネルギーを発生・使用し、外部に放射することがあります。本マニュアルに沿って装置をインストール/使用しない場合、無線通信およびテレビ通信の妨害の原因となる場合があります。地域特有の要因のため、特定のインストールに妨害しないことは保証できません。

1. 放射および電磁波耐性の要件に見合うため、ユーザーは下記事項を順守してください。

- a. 本デジタル装置と他のコンピューターを接続する場合は、付属の I/O ケーブルのみを使用してください。

- b. 要件を順守するために、メーカー指定のラインコードのみを使用してください。
 - c. 要件順守の責任がある当事者によって明確に承認されていない装置を変更・修正すると、ユーザーは装置の操作権利を失う場合がありますのでご注意ください。
2. 本装置が無線あるいはテレビ、あるいはその他の装置の受信妨害を引き起こす原因であると思われる場合：
- a. 装置の電源をオフ/オンにして放射元を確認してください。本装置が妨害元であると確認される場合は、下記のいずれかの方法で妨害しないように修正してください。
 - I. 妨害を受けたレシーバーからデジタル装置を離す。
 - II. 妨害を受けたレシーバーに対してデジタル装置を再配置（向きを変える）する。
 - III. 妨害を受けたレシーバーのアンテナを再配置する。
 - IV. デジタル装置とレシーバーの分岐回路が異なるようにデジタル装置を違う AC コンセントに差し込む。
 - V. デジタル装置が使用しない I/O ケーブルの接続を切って、取り外す。（I/O ケーブルの接続を切ると、電波周波数の放出レベルを増す可能性があります。）
 - VI. デジタル装置を接地コンセントのみに差し込む。AC アダプタープラグを使用しないこと。（接地したラインコードを取り外したり切ったりすると無線周波数の放出レベルを増す可能性があります、ユーザーに致命的な感電の危険を及ぼす可能性があります。）

さらに援助が必要な場合は、ディーラー、メーカー、あるいはベテランの無線あるいはテレビ技術者に相談してください。

III. 比吸収率

米国連邦通信委員会 (FCC) & カナダ産業省 (IC) :

お求めの携帯機器は無線の送受信機です。米国連邦通信委員会 (FCC) ならびにカナダ産業省 (IC) が採用する電波暴露の規制 (無線周波電磁界) を超えないように設計されています。これらの規制は年齢や健康に関係なくすべての人々の安全を保証するために、安全範囲などを規制しています。

電波暴露のガイドラインは比吸収率 (SAR) として知られる測定単位を使用しており、人体が吸収した無線周波エネルギーの量を測定しています。米国とカナダは携帯機器の SAR 制限値を 1.6 W/kg に設定しました。

SAR の検査は、あらゆる周波数帯で検査した最高の保証電力レベルで送信する装置の一般的な

操作位置で行われます。FCC ならびに IC 検査ガイドラインにおける、あなたの装置モデルの最高測定 SAR 値は次の通りです。

人体に対する比吸収率 (SAR) (1g) Wi-Fi、Bluetooth : 1.205 W/kg

装置の実際の SAR 値は使用中はこの値よりもはるかに下回ります。これは、システムの効率とネットワークの妨害を最低限に抑えるという目的上、無線接続のためにフルパワーが必要でないときに携帯機器の操作電力が自動的に減るからです。装置の電力出力が低ければ低いほど、その SAR 値は低くなります。

無線周波数 (RF) の暴露を減らしたい場合は、装置の使用を制限したり付属品を使用したり、人体から装置を離します。

欧州連合 :

欧州連合理事会が推奨する SAR 制限値は 2.0W/kg です。欧州連合 (EU) 検査ガイドラインでの最高測定 SAR 値に従うと、本装置の最大 SAR 値は欧州連合 (EU) 制限値をはるかに下回ります。

人体に対する比吸収率 (SAR)、距離 0cm (10g) Wi-Fi、Bluetooth : 0.420 W/kg

タブレットの Wi-Fi ならびに Bluetooth 装置は EN 62311:2008 / EN 62209-2:2010 ならびに EN 62479:2010 に規定のとおり、一般住民/無制御暴露限度 (2.0W/Kg) の比吸収率 (SAR) に準拠しています。

IV. EC R&TTE 指令

本装置は指令 1999/5/EC のすべての必須要件にすべて適合しています。適合評価手順は第 10 章に、詳細は指令 10/10/EC の付録 [IV] に記載されており、公認機関は次の通りです。

Timco Engineering, Inc.
P.O. BOX 370
Newberry, Florida 32669 USA

識別記号 : 1177 (公認機関番号)

CE 1177

関連技術文書の保管場所：
Elo Touch Solutions, Inc.
1033 McCarthy Boulevard
Milpitas, CA 95035-7920
USA

V. 検定代行機関

以下の認証・記号はタブレットならびにドッキング・ステーション用に発行・表明されています。

- 欧州連合 CE
- 米国 FCC
- カナダ IC
- 米国・カナダ UL
- Energy Star®

以下の認証・記号はタブレットのバッテリー用に発行・表明されています。

- 米国・カナダ UL
- 欧州連合 CE マーク
- 国連輸送安全性試験 (UN Manual of tests and criteria, Part III, subsection 38.3) (リチウムイオン・バッテリー輸送試験)

タブレットは、スマートカードリーダーのスロットカバーがスマートカードリーダーのスロットに正しくセットされていることを条件に IP-54 に準拠するように設計されています (ほこりの侵入に対して制限保護 (有害な堆積なし) ならびにあらゆる方向からの水はねから保護)。

第 8 章： 保証情報

保証情報については、<http://www.elotouch.com/Support/warranty.asp> をご覧ください。

当社のウェブサイトをご覧ください

www.elotouch.com

以下の最新情報をご覧ください。

- 製品別情報
- 仕様
- 次回イベント
- プレスリリース
- ソフトウェアドライバ

Elo社へのお問い合わせ

Elo社のタッチリユースに関する詳細については、弊社のウェブサイト www.elotouch.com をご覧いただくか、最寄りのオフィスまでご連絡ください。

北米

Elo Touch Solutions
1033 McCarthy Blvd
Milpitas, CA 95035

電話 800-ELO-TOUCH

電話+1-408-597-8000
Fax 1-408-597-8050
customerservice@elotouch.com

欧州

電話 +32 (0) 16 70 45 00
Fax +32 (0) 16 70 45 49
elosales@elotouch.com

アジア太平洋

電話+86(21)3329-1385
Fax +86(21)3329-1400
www.elotouch.com.cn

ラテンアメリカ

電話 786-923-0251
Fax 305-931-0124
www.elotouch.com

責任放棄声明

この文書に記載された情報は、予告なしに変更される場合があります。 Elo Touch Solutions, Inc. 社およびその関連会社（まとめて、「Elo」と呼ぶ）では本書の内容に関して明言あるいは保証しません。特に、特定目的の暗黙の商品性あるいは適切性の保証はしません。 Elo 社は時折本書記載内容を改訂あるいは変更する権利を有しており、その際、Elo 社はそのような改定あるいは変更に関して通知する責任はありません。

事前に Elo Touch Solutions, Inc. 社の書面による許可を得ないで、本書のいかなる部分を電子、磁気、光学、化学、手動などで複製、送信、転写、情報検索システムに記録、あるいはいかなる言語あるいはコンピューター言語などへの翻訳などは、いかなる形態あるいはいかなる方法でも禁止されています（但し、必ずしもこれらに限定されません）。

ELO、Elo（ロゴ）、Elo Touch、Elo Touch Solutions、Elo Touch Systems、AccuTouch、CarrollTouch、IntelliTouch、ならびに iTouch は Elo Touch Solutions Inc. 社およびその関連会社の商標です。

本書に記載のすべての製品ならびに会社名は登録名義人の商標です。

第一版（2013年5月）

Copyright 2013 Elo Touch Solutions, Inc. 無断複写・転載を禁じます。